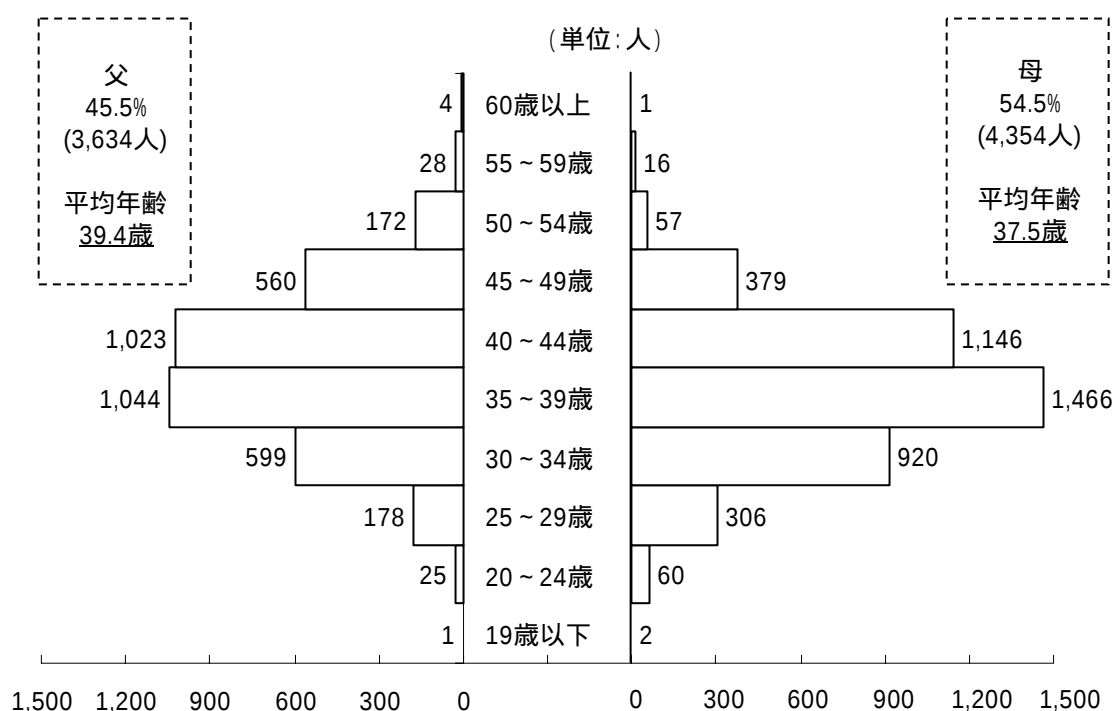


第3部 子育てに関する実態と意識

都内に在住する小学生までの子どもを養育する世帯 4,800 世帯と 20 歳未満の子どもを養育するひとり親世帯 1,200 世帯を住民基本台帳から無作為に抽出し、それらの世帯の子どもの父親と母親（養育者を含む。）を調査の客体とした。そのうち、回答のあった 7,988 人の状況と意識について述べる。

○ 回答者の性・年齢階級

回答者の平均年齢は、父親が 39.4 歳、母親が 37.5 歳となっている。



第1章 就労について

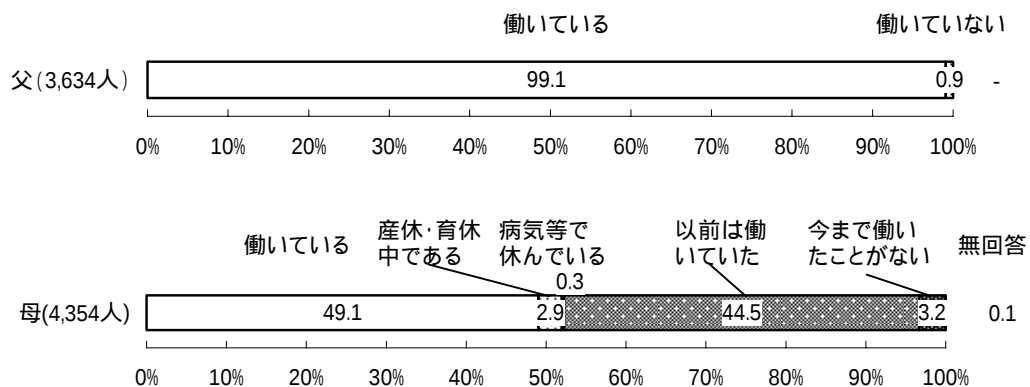
1 就労の状況

(1) 就労の状況

7,988 人の就労の状況をみると、父親は 99.1%が「働いている」のに対して、母親は 49.1%である。母親は、「以前は働いていた」の割合も 44.5%と高くなっている。(図 -1-1)

問 あなたの現在の就労の状況について教えてください。

図 -1-1 就労の状況



(2) 就労の状況 - 性・年齢階級別

就労の状況を性・年齢階級別にみると、母親の「働いている」割合は、年齢が上がるにつれて高くなり、29歳以下では35.3%と4割に満たないが、40歳以上では半数を超えている。(表-1-1)

表 -1-1 就労の状況 - 性・年齢階級別

	総 数	働 い て い る	働 い て い ない	で産 休 育 児 休 業 中 ある	る病 気 等 で 休 ん で い	以 前 は 働 い て い た	は今 ま で 働 い た こ と ない	無 回 答
総数	100.0 (7,988)	71.9	28.1	1.6	0.3	24.5	1.7	0.0
父	100.0 (3,634)	99.1	0.9	-	0.3	0.6	-	-
29歳以下	100.0 (204)	99.0	1.0	-	-	1.0	-	-
30～34歳	100.0 (599)	98.8	1.2	-	0.2	1.0	-	-
35～39歳	100.0 (1,044)	99.3	0.7	-	0.1	0.6	-	-
40～44歳	100.0 (1,023)	99.4	0.6	-	0.3	0.3	-	-
45～49歳	100.0 (560)	99.1	0.9	-	0.9	-	-	-
50歳以上	100.0 (204)	98.0	2.0	-	0.5	1.5	-	-
母	100.0 (4,354)	49.1	50.8	2.9	0.3	44.5	3.2	0.1
29歳以下	100.0 (368)	<u>35.3</u>	64.7	6.0	-	51.6	7.1	-
30～34歳	100.0 (920)	<u>40.1</u>	59.9	6.8	0.2	50.5	2.3	-
35～39歳	100.0 (1,466)	<u>46.2</u>	53.8	2.2	0.4	47.8	3.3	0.1
40～44歳	100.0 (1,146)	<u>58.5</u>	41.4	0.7	0.3	37.6	2.9	0.1
45～49歳	100.0 (379)	<u>63.6</u>	36.1	-	0.3	33.8	2.1	0.3
50歳以上	100.0 (74)	<u>66.2</u>	33.8	-	-	31.1	2.7	-

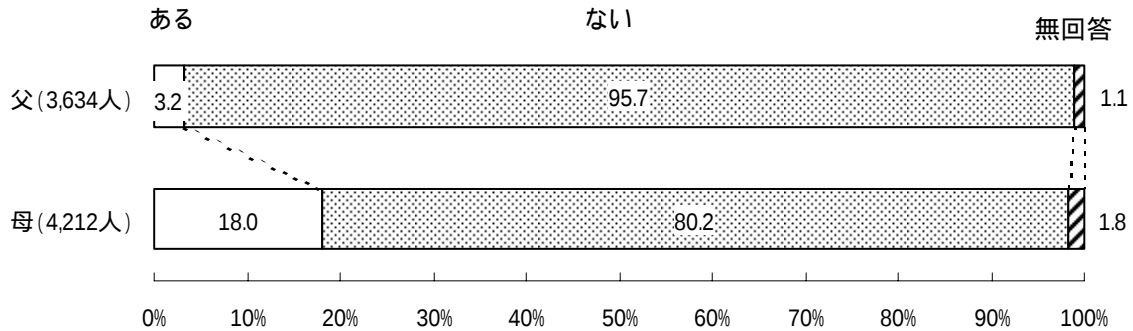
2 子育てを理由とした転職の有無

(1) 子育てを理由とした転職の有無

今まで働いたことがない人を除いた 7,846 人のうち、子育てを理由として転職したことがあるのは、父親 3.2%、母親 18.0%である。(図 -1-2)

問 あなたは、今までに子育てを理由として、転職したことがありますか。

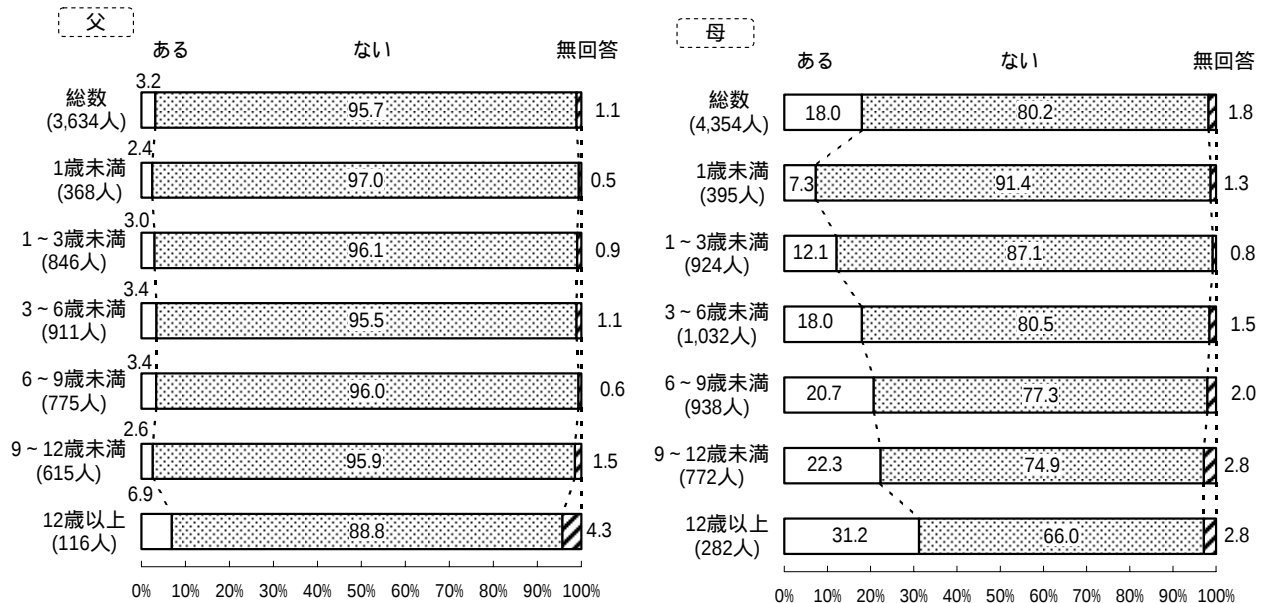
図 -1-2 子育てを理由とした転職の有無



(2) 子育てを理由とした転職の有無 - 1 番下の子どもの年齢別

子育てを理由とした転職の有無を 1 番下の子どもの年齢別にみると、「ある」と答えた母親の割合は、1 番下の子どもの年齢が上がるにつれて高くなっている。(図 -1-3)

図 -1-3 子育てを理由とした転職の有無 - 1 番下の子どもの年齢別



3 勤務時間の調整の有無

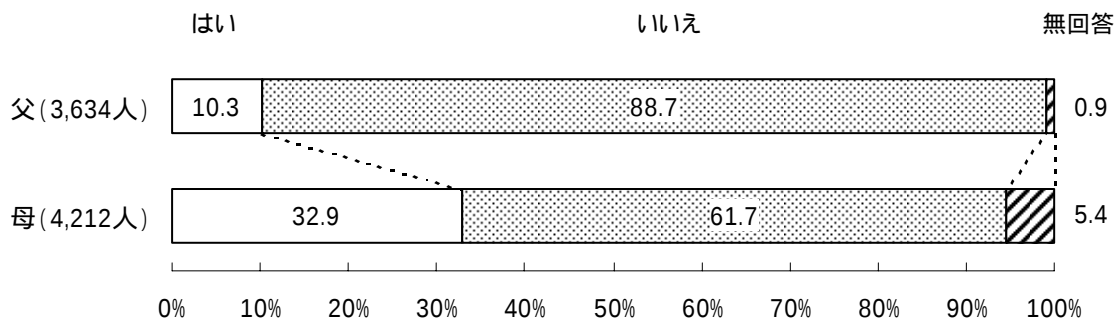
(1) 勤務時間の調整の有無

勤務時間の調整をしたことがあるのは、父親 1 割、母親 3 割強

今まで働いたことがない人を除いた 7,846 人のうち、子どもが生まれた後、勤務時間の調整をした（予定も含む。）のは、父親 10.3%、母親 32.9%である。（図 -1-4）

問 あなたは、子どもが生まれた後、勤務時間の調整（短時間勤務、フレックス、勤務時間の繰上げ、繰下げ等）をしましたか、又は職場復帰後、調整をする予定ですか。

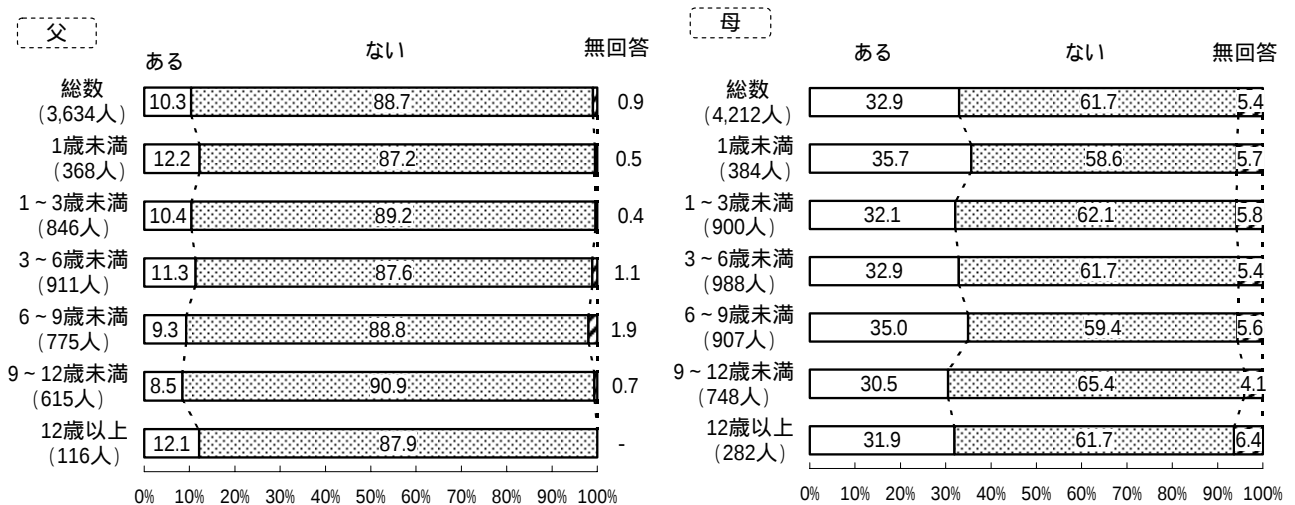
図 -1-4 勤務時間の調整の有無



(2) 勤務時間の調整の有無 - 1 番下の子どもの年齢別

勤務時間の調整の有無を 1 番下の子どもの年齢別にみると、「ある」の割合は、父母とも 1 番下の子どもの年齢が 1 歳未満のときに最も高く、父親は 12.2%、母親は 35.7%となっている。（図 -1-5）

図 -1-5 勤務時間の調整の有無 - 1 番下の子どもの年齢別

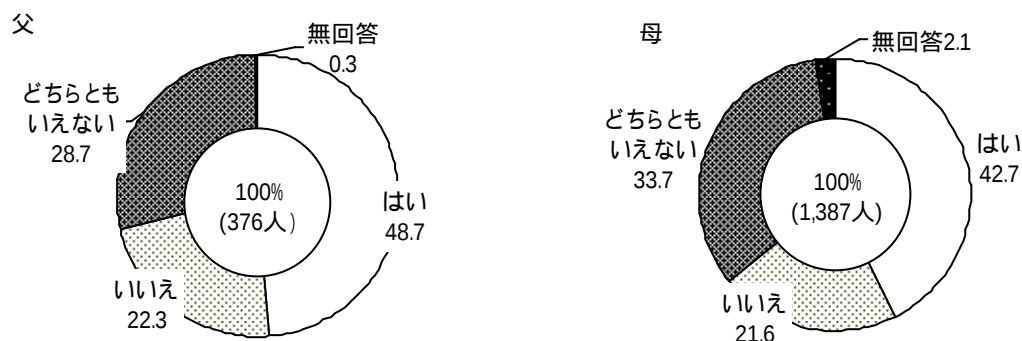


4 勤務時間の調整は十分か

勤務時間の調整をした（する予定）の1,763人に勤務時間の調整は十分にできた（できる）と思うか聞いたところ、「はい」と答えた割合が、父母ともに最も高く、父親48.7%、母親42.7%とそれぞれ4割を超えている。（図 -1-6）

問 勤務時間は十分に調整できた（できる）と思いますか。

図 -1-6 勤務時間の調整は十分か

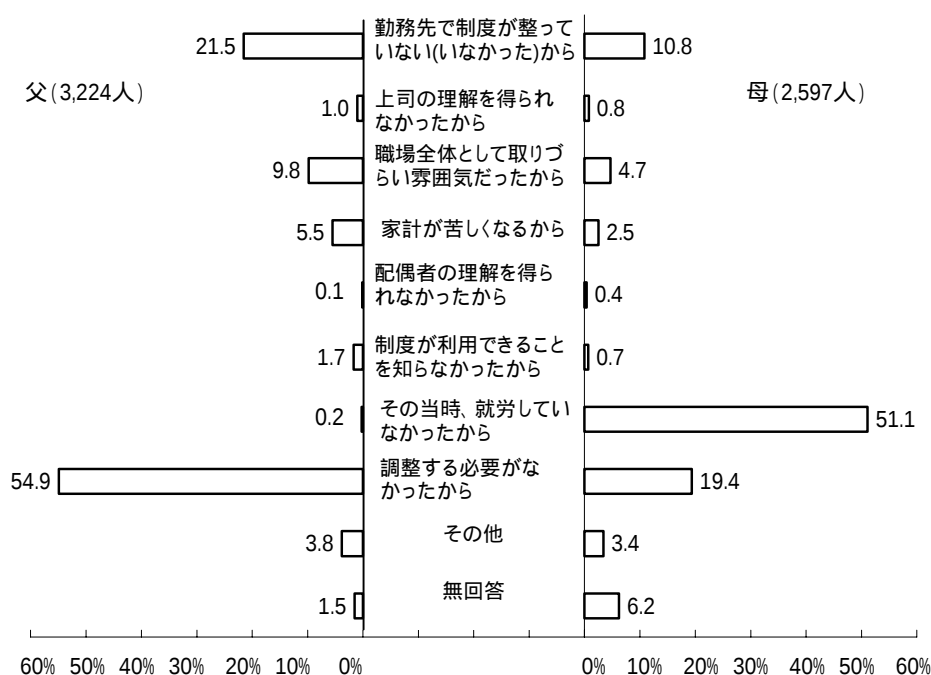


5 勤務時間の調整をしなかった理由

勤務時間の調整をしなかった（する予定がない）5,821人にその理由を聞いたところ、最も割合が高かったのは、父親は「調整する必要がなかったから」の54.9%、母親は「その当時就労していなかったから」の51.1%であった。父親で2番目に高かったのは、「勤務先で制度が整っていない（いなかった）から」の21.5%で2割を超えている。（図 -1-7）

問 調整をしなかった（しない）理由は何ですか。

図 -1-7 勤務時間の調整をしなかった理由



6 仕事をやめた理由

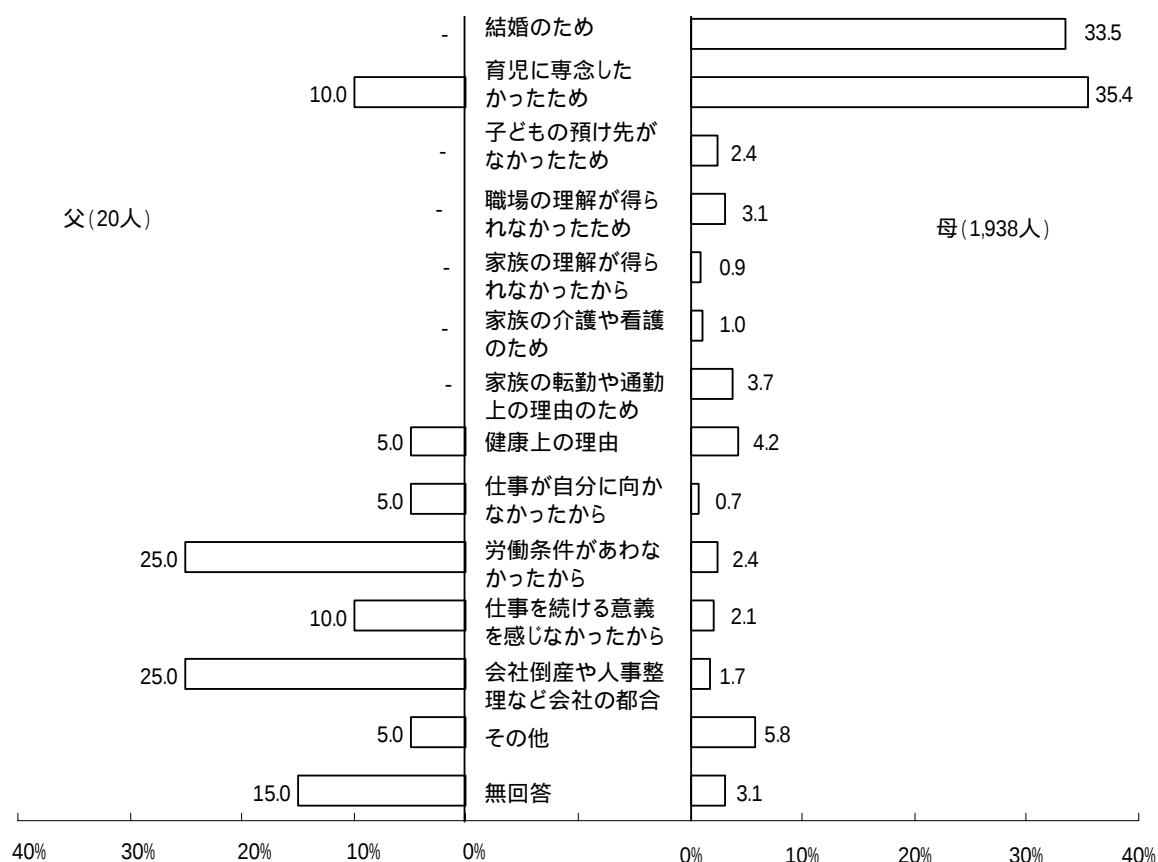
(1) 仕事をやめた理由

母親が仕事をやめた理由は、「育児に専念したかったため」がトップ

就労状況で、「以前は働いていた」と答えた 1,958 人に仕事をやめた理由を聞いたところ、母親は「育児に専念したかったため」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「結婚のため」の 33.5%であった。(図 -1-8)

問 仕事をやめた理由は何ですか。

図 -1-8 仕事をやめた理由



(2) 仕事をやめた理由 - 母親の年齢階級別

母親が仕事をやめた理由は、39歳以下では「育児に専念したかったため」、40代では「結婚のため」の割合が最も高い。

仕事をやめた理由を母親の年齢階級別にみると、39歳以下では「育児に専念したかったため」の割合が最も高い(29歳以下 36.3%、30～34歳 37.0%、35～39歳 36.9%)。一方40代では、「結婚のため」の割合が最も高く、40～44歳では 37.6%、45～49歳では 35.9%となっている。
(表 -1-2)

表 -1-2 仕事をやめた理由 - 母親の年齢階級別

	総 数	結 婚 の た め	育 児 に 専 念 し た か っ た た め	子 ど も の 預 け 先 が な か っ た た め (遠 か っ た た め)	子 育 て に つ い て 職 場 の 理 解 が 得 ら れ な か っ た た め	仕 事 を 続 け る こ と に つ い て 、 家 族 の 理 解 が 得 ら れ な か っ た た め	家 族 の 介 護 や 看 護 の た め	家 族 の 転 勤 や 通 勤 上 の 理 由 の た め	健 康 上 の 理 由	仕 事 が 自 分 に 向 か な か っ た た め	労 働 条 件 (労 働 時 間 、 賃 金 等) が 合 わ な か っ た た め	仕 事 を 続 け る こ と の 意 義 を 感 じ な か っ た た め	会 社 倒 産 や 人 事 整 理 な ど 会 社 の 都 合 か ら	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (1,938)	33.5	35.4	2.4	3.1	0.9	1.0	3.7	4.2	0.7	2.4	2.1	1.7	5.8	3.1
29歳以下	100.0 (190)	30.0	<u>36.3</u>	5.8	1.6	0.0	0.0	2.1	4.2	0.5	1.6	0.5	1.1	11.6	4.7
30～34歳	100.0 (465)	29.0	<u>37.0</u>	1.3	3.0	0.4	0.4	4.7	5.2	0.6	3.4	1.3	2.2	7.5	3.9
35～39歳	100.0 (701)	35.0	<u>36.9</u>	1.9	3.7	0.9	0.9	3.6	2.7	0.9	2.3	3.0	1.3	4.9	2.3
40～44歳	100.0 (431)	<u>37.6</u>	33.4	3.0	3.5	1.2	1.2	3.5	4.2	0.5	2.1	1.9	1.9	3.7	2.6
45～49歳	100.0 (128)	<u>35.9</u>	28.9	3.1	1.6	0.8	3.1	3.9	5.5	1.6	1.6	3.9	2.3	3.1	4.7
50歳以上	100.0 (23)	17.4	21.7	-	-	13.0	13.0	-	21.7	0.0	4.3	-	-	4.3	4.3

(注) 父親は総数が20名のため省略した。

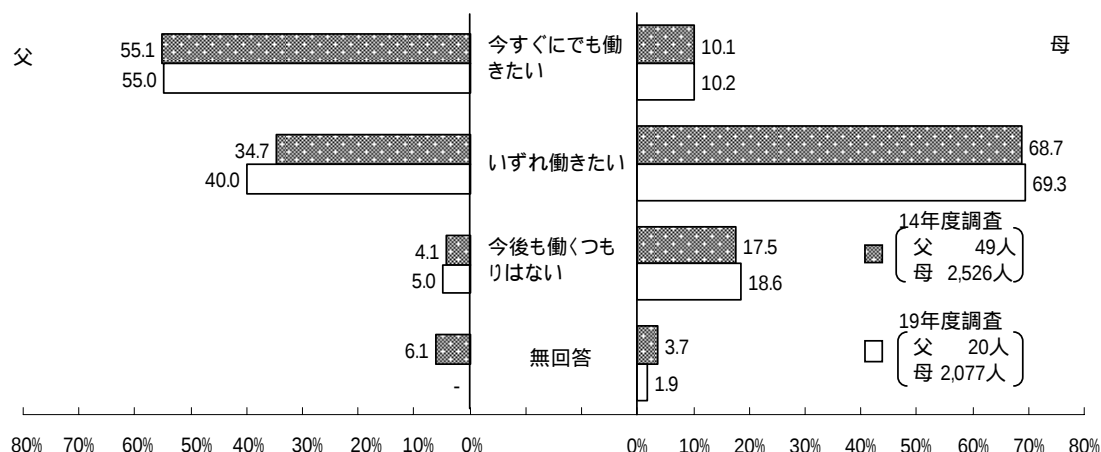
7 今後の就労希望

(1) 今後の就労希望 - 前回調査との比較

就労状況で、「以前は働いていた」「今まで働いたことはない」と答えた2,097人に今後働きたいと思うか聞いたところ、父親は「今すぐにでも働きたい」の割合が最も高く55.0%、母親は「いずれ働きたい」の割合が69.3%と最も高くなっている。(図 -1-9)

問 あなたは、今後働きたいと思いますか。

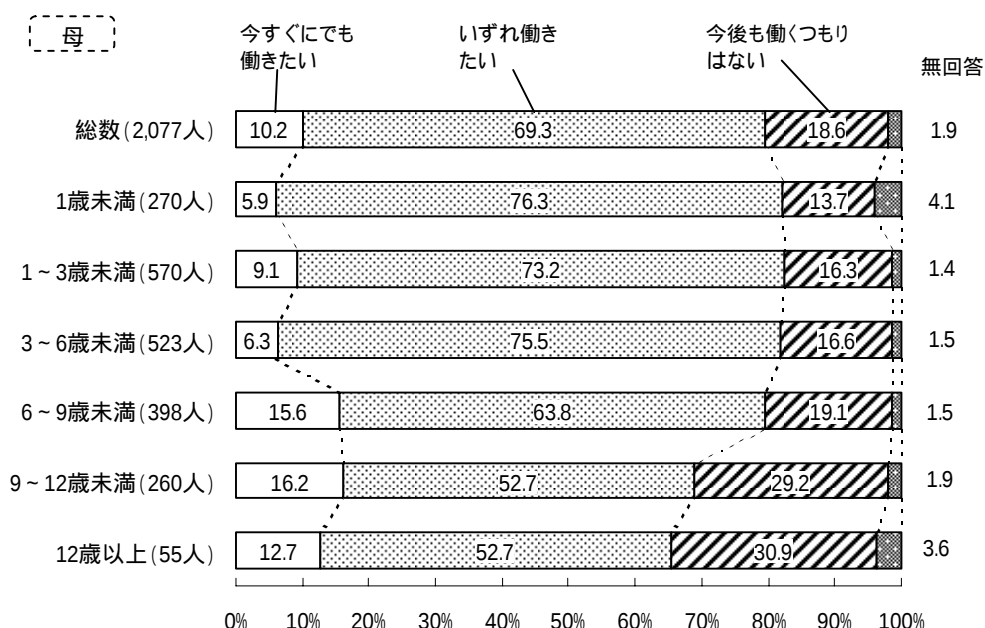
図 -1-9 今後の就労希望 - 前回調査との比較



(2) 今後の就労希望 - 1番下の子どもの年齢別

母親の今後の就労希望を1番下の子どもの年齢別にみると、「今すぐにでも働きたい」の割合は、1番下の子どもの年齢が6～9歳未満(15.6%)、9～12歳未満(16.2%)のときに高くなっている。(図 -1-10)

図 -1-10 今後の就労希望 - 1番下の子どもの年齢別



(注) 父親は総数が20名のため省略した。

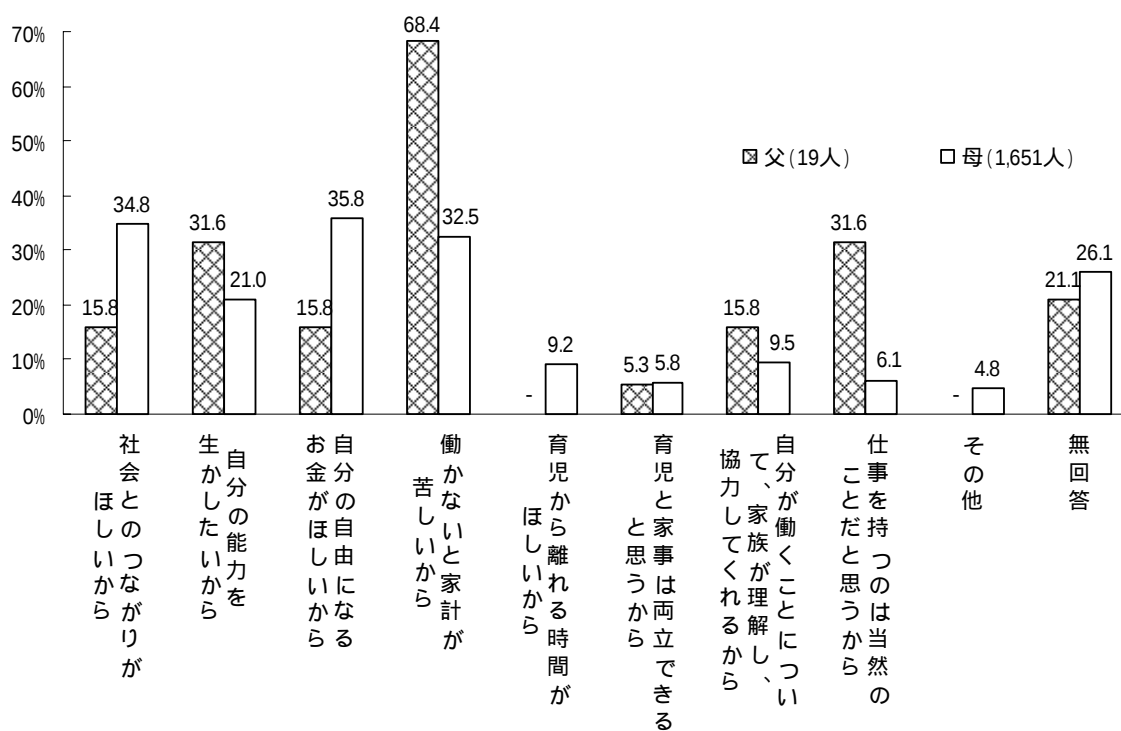
8 今後働きたいと思う理由

(1) 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕

今後の就労希望で「今すぐにでも働きたい」「いずれに働きたい」と答えた 1,670 人に、今後働きたい理由を聞いたところ、母親は、「自分の自由になるお金がほしいから」の割合が最も高く 35.8%、次いで「社会とのつながりがほしいから」の 34.8%となっている。(図 -1-11)

問 今後働きたいと思う理由は何ですか。

図 -1-11 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕



(2) 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕 - 母親の年齢階級別

母親が今後働きたい理由は、年齢が低いほど「働かないと家計が苦しいから」の割合が高くなっている。

母親が今後働きたい理由を年齢階級別にみたところ、「働かないと家計が苦しいから」の割合は、年齢が低いほど高くなっており、29歳以下では41.8%と総数と比べて9.3ポイント高くなっている。一方、45～49歳では、「社会とのつながりがほしいから」の割合が最も高く、44.1%となっている。(表 -1-3)

表 -1-3 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕 - 母親の年齢階級別

	総 数	社 会 と の つ な が り が ほ し い か ら	自 分 の 能 力 を 生 か し た い か ら	自 分 の 自 由 に な る お 金 が ほ し い か ら	働 か な い と 家 計 が 苦 し い か ら	育 児 か ら 離 れ る 時 間 が ほ し い か ら	育 児 と 家 事 は 両 立 で き る と 思 う か ら	自 分 が 働 く こ と に つ い て 、 家 族 が 理 解 し 、 協 力 し て く れ る か ら	仕 事 を 持 つ の は 当 然 の こ と だ と 思 う か ら	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (1,651)	34.8	21.0	35.8	<u>32.5</u>	9.2	5.8	9.5	6.1	4.8	26.1
29歳以下	100.0 (184)	32.6	21.2	38.6	<u>41.8</u>	13.6	8.7	12.5	7.1	6.0	24.5
30～34歳	100.0 (408)	31.4	17.9	36.8	<u>35.3</u>	10.5	4.9	13.0	6.4	4.4	26.5
35～39歳	100.0 (601)	35.6	20.0	34.8	<u>31.8</u>	8.8	6.0	7.7	5.7	4.5	25.5
40～44歳	100.0 (351)	36.2	21.9	33.0	<u>28.5</u>	8.0	6.0	8.5	5.1	5.1	29.3
45～49歳	100.0 (93)	<u>44.1</u>	35.5	43.0	<u>23.7</u>	2.2	2.2	4.3	6.5	4.3	19.4
50歳以上	100.0 (14)	28.6	28.6	35.7	<u>21.4</u>	7.1	7.1	7.1	28.6	7.1	28.6

(注) 父親は総数が19名のため省略した。

(3) 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕 - 世帯の年間収入別

母親が今後働きたいと思う理由は、世帯の年間収入が 500 万円未満では「働かないと家計が苦しいから」、500～800 万円未満では「自分の自由になるお金がほしいから」、800 万円以上では「社会とのつながりがほしいから」の割合がそれぞれ最も高い。

母親が今後働きたいと思う理由を世帯の年間収入別にみると、世帯の年間収入が 500 万円未満の場合は、「働かないと家計が苦しいから」の割合が最も高い（200 万円未満 76.3%、200～300 万円未満 52.7%、300～400 万円未満 44.2%、400～500 万円未満 46.1%）。また、500～800 万円未満では、「自分の自由になるお金がほしいから」の割合が最も高く（500～600 万円未満 38.1%、600～800 万円未満 40.5%）。800 万円以上では「社会とのつながりがほしいから」の割合が最も高くなっている（800～1,000 万円未満 38.8%、1,000～1,200 万円未満 42.4%、1,200～1,500 万円未満 46.2%、1,500 万円以上 36.1%）。（表 -1-4）

表 -1-4 今後働きたいと思う理由〔複数回答〕 - 世帯の年間収入別

	総 数	社 会 と の つ な が り が ほ し い か ら	自 分 の 能 力 を 生 か し た い か ら	自 分 の 自 由 に な る お 金 が ほ し い か ら	働 か な い と 家 計 が 苦 し い か ら	育 児 か ら 離 れ る 時 間 が ほ し い か ら	育 児 と 家 事 は 両 立 で き る と 思 う か	理 解 し 、 協 力 し て く れ る か ら	自 分 が 働 く こ と に つ い て 、 家 族 が	う か ら	仕 事 を 持 つ の は 当 然 の こ と だ と 思	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (1,651)	34.8	21.0	35.8	32.5	9.2	5.8	9.5	6.1	4.8	26.1		
200万円未満	100.0 (38)	23.7	21.1	23.7	<u>76.3</u>	2.6	7.9	15.8	26.3	5.3	13.2		
200～300万円未満	100.0 (74)	28.4	24.3	36.5	<u>52.7</u>	10.8	6.8	10.8	9.5	2.7	24.3		
300～400万円未満	100.0 (172)	27.3	15.7	33.1	<u>44.2</u>	11.0	7.0	9.9	5.2	2.9	27.9		
400～500万円未満	100.0 (243)	32.1	16.5	37.4	<u>46.1</u>	9.5	4.9	10.7	3.3	5.8	22.2		
500～600万円未満	100.0 (270)	36.3	20.0	<u>38.1</u>	37.4	11.9	6.7	11.9	4.4	6.3	21.1		
600～800万円未満	100.0 (348)	35.3	18.4	<u>40.5</u>	27.9	8.9	6.3	8.9	6.3	4.0	27.6		
800～1,000万円未満	100.0 (206)	<u>38.8</u>	23.8	33.5	20.4	7.8	6.3	6.3	7.8	4.9	28.6		
1,000～1,200万円未満	100.0 (132)	<u>42.4</u>	32.6	34.1	11.4	9.8	6.8	8.3	4.5	3.8	26.5		
1,200～1,500万円未満	100.0 (52)	<u>46.2</u>	25.0	44.2	11.5	9.6	1.9	5.8	5.8	7.7	34.6		
1,500万円以上	100.0 (61)	<u>36.1</u>	31.1	14.8	-	3.3	1.6	4.9	3.3	8.2	36.1		

（注）父親は総数が 19 名のため省略した。

9 今後働くための条件

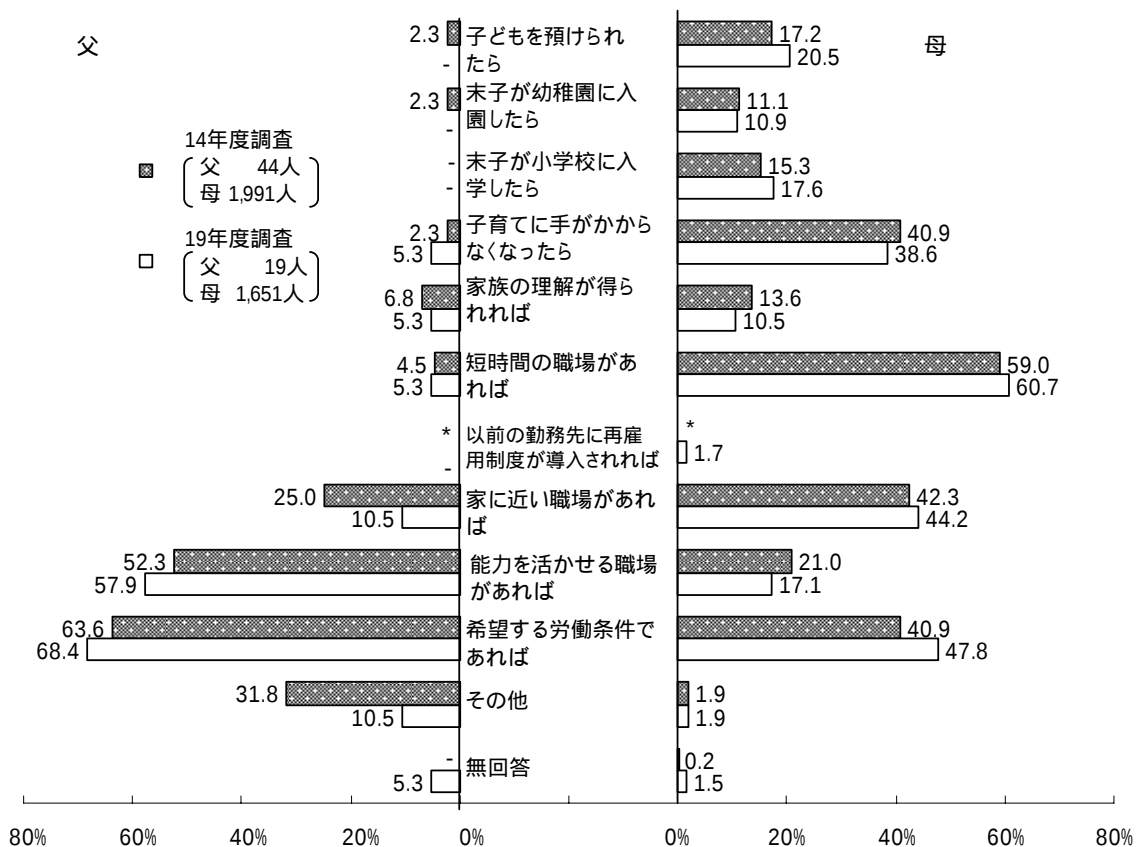
(1) 今後働くための条件〔複数回答〕 - 前回調査との比較

母親が今後働くための条件で最も割合が高いのは、「短い時間でも働ける職場があれば」で6割

今後の就労希望で「今すぐにでも働きたい」「いずれ働きたい」と答えた 1,670 人に、どのような条件が満たされれば働くことができると思うか聞いたところ、割合が最も高かったのは、父親は、「希望する労働条件であれば」で 68.4%、母親は「短い時間でも働ける職場があれば」で 60.7%であった。(図 -1-12)

問 どのような条件が満たされれば、働くことができますか。

図 -1-12 今後働くための条件〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(注) * は 14 年度調査時に選択肢がなかったもの。

(2) 今後働くための条件〔複数回答〕 - 1 番下の子どもの年齢別

母親が今後働くための条件を1番下の子どもの年齢別にみると、すべての年齢階級において、「短い時間でも働ける職場があれば」の割合が最も高かった。「自分の能力を生かせる職場があれば」の割合は、1 番下の子どもの年齢が上がるほど高くなっている。(表 -1-5)

表 -1-5 今後働くための条件〔複数回答〕 - 1 番下の子どもの年齢別

	総 数	子 ども を ど こ か に 預 け ら れ た ら	未 子 が 幼 稚 園 に 入 園 し た ら	未 子 が 小 学 校 に 入 学 し た ら	子 育 て に 手 が か か ら な く な っ た ら	家 族 の 理 解 が 得 ら れ ば	短 い 時 間 で も 働 け る 職 場 が あ れ ば	以 前 の 勤 務 先 に 再 雇 用 制 度 が 導 入 さ れ れ ば	家 に 近 い 職 場 が あ れ ば	自 分 の 能 力 を 生 か せ る 職 場 が あ れ ば	希 望 す る 労 働 条 件 で あ れ ば	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (1651)	20.5	10.9	17.6	38.6	10.5	<u>60.7</u>	1.7	44.2	17.1	47.8	1.9	1.5
1歳未満	100.0 (222)	43.7	15.3	18.5	35.6	9.5	<u>47.7</u>	2.7	36.9	<u>12.2</u>	45.9	1.4	2.3
1～3歳未満	100.0 (469)	31.6	23.5	20.5	31.1	7.9	<u>57.6</u>	2.1	40.1	<u>13.9</u>	44.6	1.5	1.3
3～6歳未満	100.0 (428)	12.4	8.2	29.0	44.4	10.5	<u>66.8</u>	0.9	40.2	<u>15.2</u>	45.1	1.6	1.9
6～9歳未満	100.0 (316)	8.5	0.3	9.5	46.2	11.7	<u>64.6</u>	1.3	53.2	<u>19.9</u>	50.3	1.9	1.3
9～12歳未満	100.0 (179)	6.1	-	-	38.5	16.2	<u>62.6</u>	1.7	55.9	<u>27.4</u>	58.1	3.4	0.6
12歳以上	100.0 (36)	5.6	-	-	19.4	8.3	<u>66.7</u>	2.8	52.8	<u>33.3</u>	63.9	8.3	2.8

(注) 父親は総数が 19 名のため省略した。

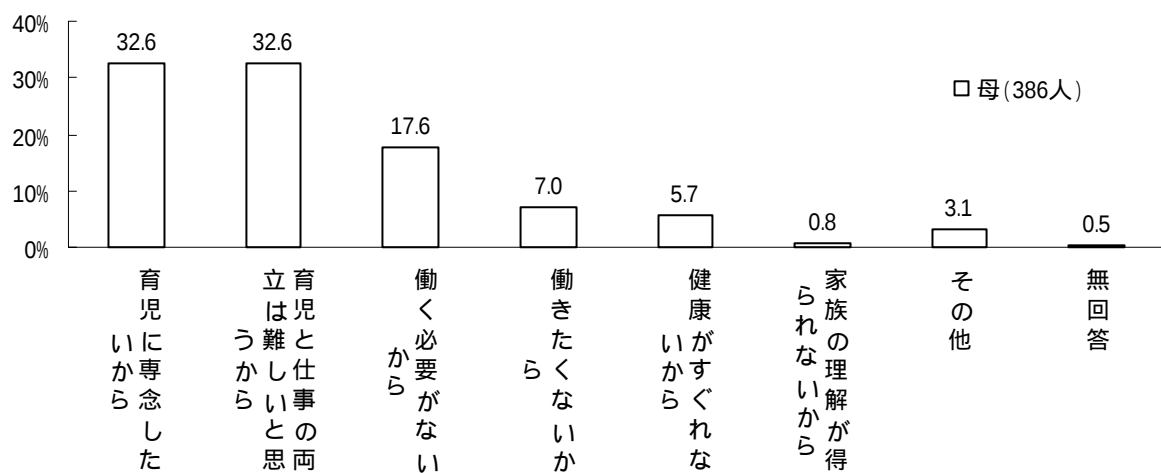
10 働くつもりがない理由

(1) 働くつもりがない理由

今後の就労希望で「今後も働くつもりはない」と答えた 387 人にその理由を聞いたところ、母親は、「育児に専念したいから」と「育児と仕事の両立は難しいと思うから」の割合が最も高く、32.6%であった。(図 -1-13)

問 働くつもりがない理由は何ですか。

図 -1-13 働くつもりがない理由



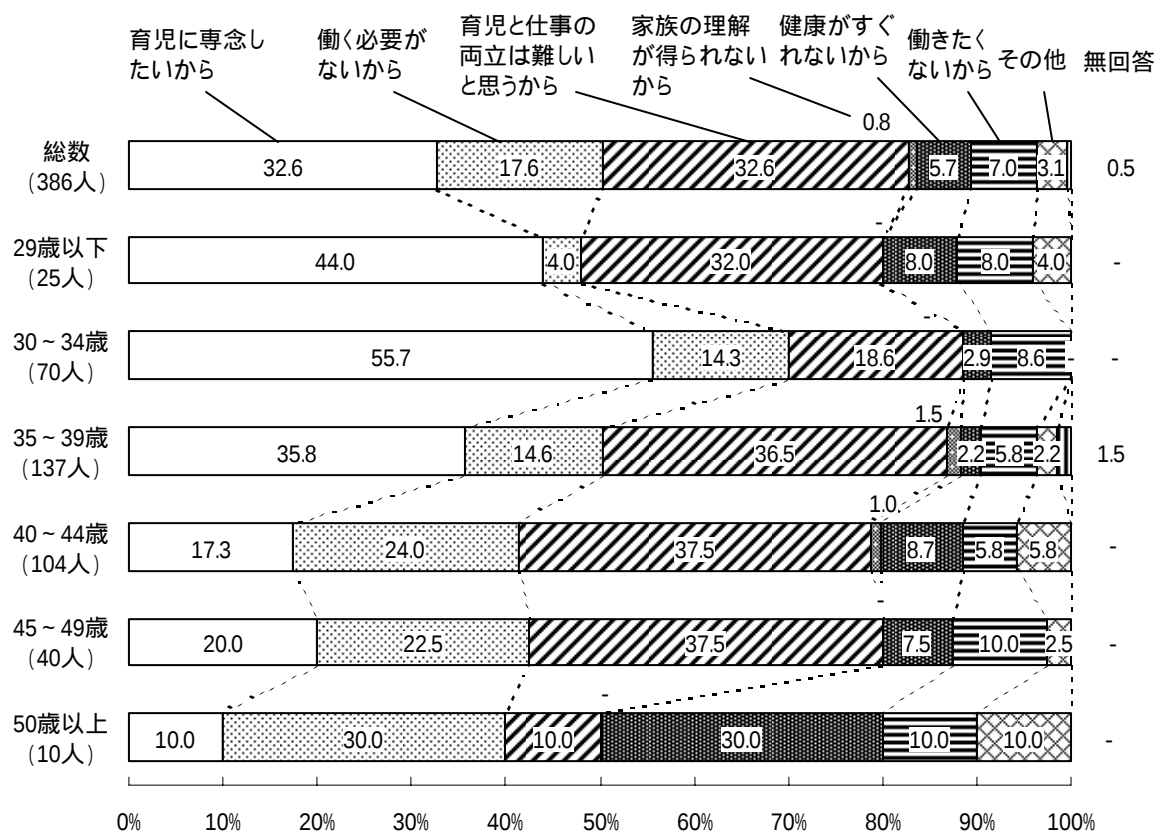
(注) 父親は総数が1名のため省略した。

(2) 働くつもりがない理由 - 母親の年齢階級別

母親が今後も働くつもりがない理由は、34歳以下では「育児に専念したいから」、35～49歳では「育児と仕事の両立は難しいと思うから」の割合がそれぞれ最も高い。

今後も働くつもりがない理由を母親の年齢階級別にみると、34歳以下では「育児に専念したいから」の割合が最も高く（29歳以下44.0% 30～34歳55.7%）30～34歳では、半数を超えている。一方35歳～49歳では、「育児と仕事の両立は難しいと思うから」の割合が最も高くなっている。（35～39歳36.5% 40～44歳37.5% 45～49歳37.5%）（図 -1-14）

図 -1-14 働くつもりがない理由 - 母親の年齢階級別



（注）父親は総数が1名のため省略した。

(3) 働くつもりがない理由 - 世帯の年間収入別

今後も働くつもりがない理由を世帯の年間収入別にみると、「育児と仕事の両立は難しいと思うから」の割合は、300万円未満を除いたすべての階層で3割を超えている。「育児に専念したいから」の割合は、400～500万円未満で特に高く、半数となっている。その他では、「働く必要がないから」の割合が1,000万円以上では34.5%と総数（17.6%）と比べて16.9ポイント高くなっていること、「健康がすぐれないから」の割合が、300万円未満では26.3%と総数（5.7%）と比べて20.6ポイント高くなっていることが目立つ。（表 -1-6）

表 -1-6 働くつもりがない理由 - 世帯の年間収入別

	総 数	育 児 に 専 念 し た い か ら	働 く 必 要 が な い か ら	思 育 児 と 仕 事 の 両 立 は 難 し い と	家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い か ら	健 康 が す ぐ れ な い か ら	働 き た く な い か ら	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (386)	32.6	<u>17.6</u>	32.6	0.8	<u>5.7</u>	7.0	3.1	0.5
300万円未満	100.0 (19)	31.6	5.3	21.1	-	<u>26.3</u>	5.3	10.5	-
300～400万円未満	100.0 (15)	40.0	6.7	<u>33.3</u>	-	6.7	6.7	6.7	-
400～500万円未満	100.0 (34)	<u>50.0</u>	8.8	<u>32.4</u>	-	5.9	-	2.9	-
500～600万円未満	100.0 (49)	36.7	10.2	<u>32.7</u>	-	6.1	14.3	-	-
600～800万円未満	100.0 (75)	37.3	8.0	<u>34.7</u>	1.3	5.3	10.7	1.3	1.3
800～1,000万円未満	100.0 (76)	34.2	17.1	<u>34.2</u>	-	6.6	5.3	2.6	-
1,000万円以上	100.0 (110)	18.2	<u>34.5</u>	<u>34.5</u>	1.8	0.9	5.5	3.6	0.9

（注）父親は総数が1名のため省略した。

第2章 育児休業制度

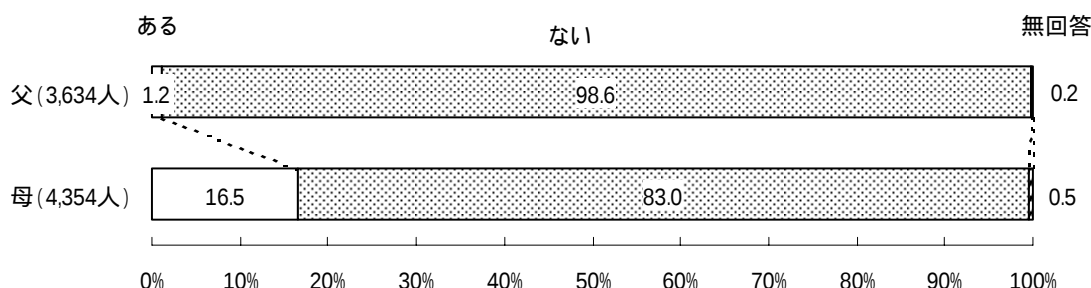
1 育児休業制度の利用の有無

(1) 育児休業制度の利用の有無

育児休業制度を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」と回答したのは、父親 1.2%、母親 16.5%である。(図 -2-1)

問 あなたは、これまでに育児休業制度を利用したことがありますか。

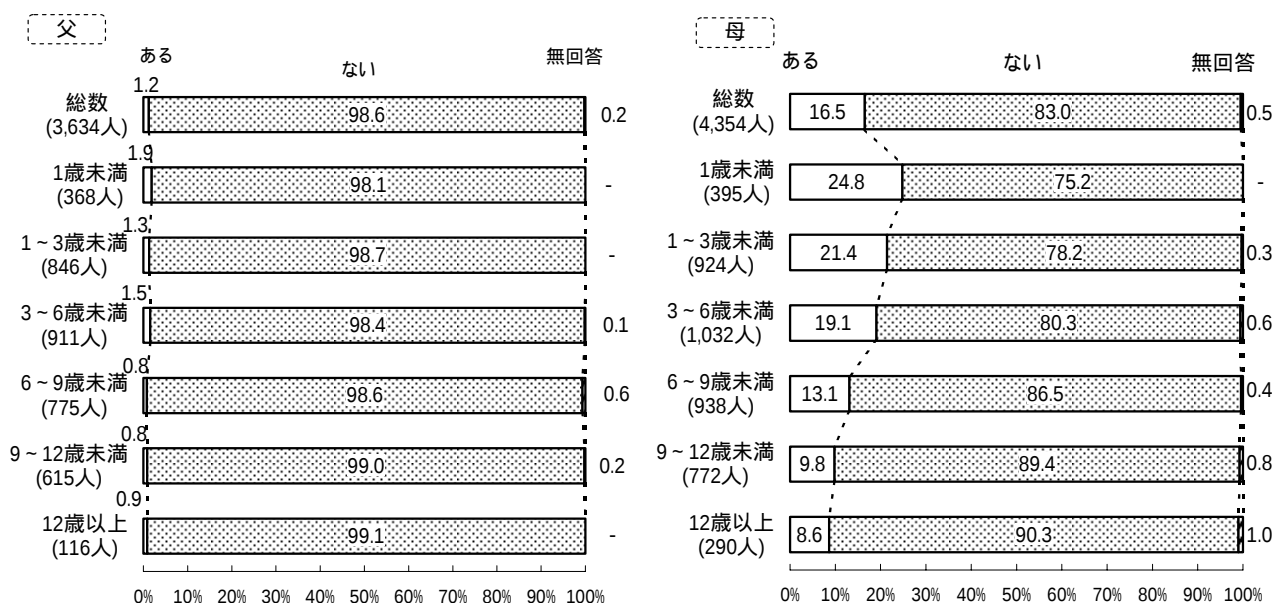
図 -2-1 育児休業制度の利用の有無



(2) 育児休業制度の利用の有無 - 1番下の子どもの年齢別

育児休業制度利用の有無を1番下の子どもの年齢別にみると、母親は、子どもの年齢が下がるにつれ、利用したことが「ある」と答えた人の割合が上がっており、1番下の子どもの年齢が「1歳未満」では、24.8%と約4人に1人が利用したことが「ある」と回答している。(図 -2-2)

図 -2-2 育児休業制度の利用の有無 - 1番下の子どもの年齢別



2 育児休業の取得期間（理想と現実）

（1） 育児休業の取得期間（理想と現実）

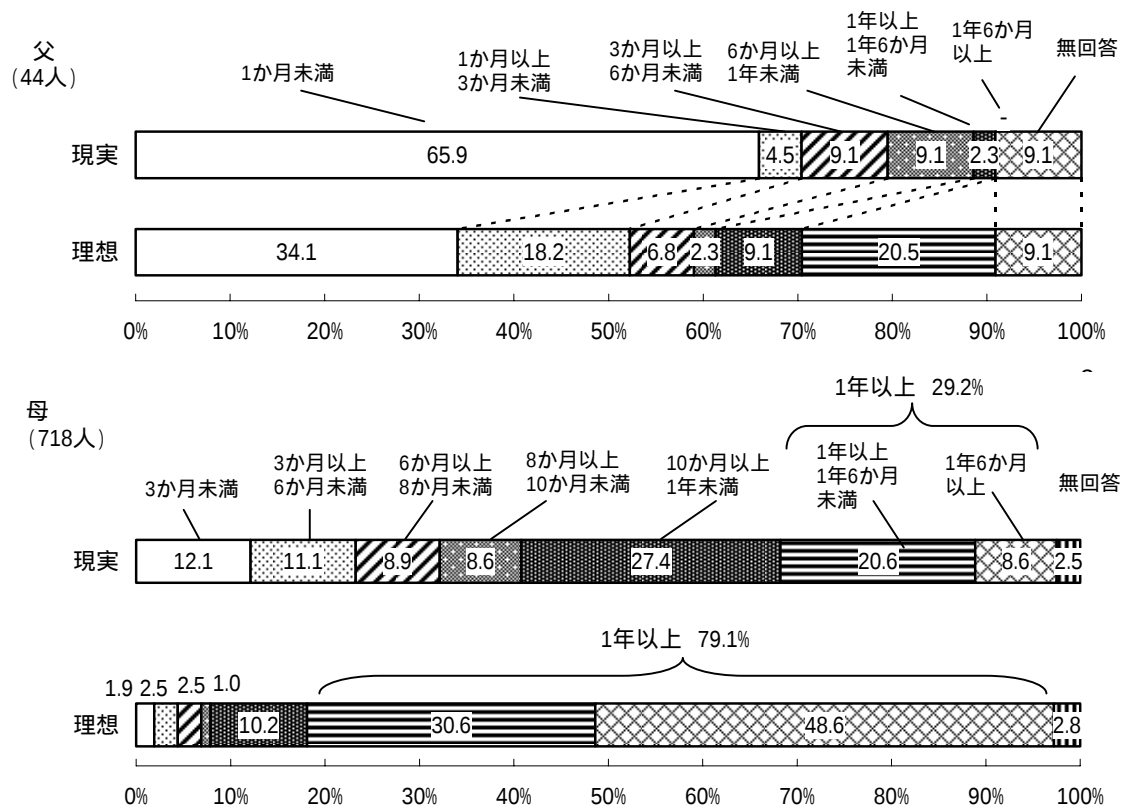
育児休業を取得した父親の 65.9% が、取得期間が「1 か月未満」であった。

育児休業制度を利用したことがある 763 人に、実際に取得した期間と、自分で育児休業の期間を自由に決められるとしたらどのくらいの期間取りたいか聞いたところ、父親については、実際の取得期間が「1 か月未満」である人が 65.9% であった。

母親については、79.1% と 8 割近くが 1 年以上取得したいと考えているが、現実に 1 年以上取得したのは 29.2% と 3 割未満で現実と理想の間にギャップがあることがわかる。（図 -2-3）

問 実際に育児休業を取った期間はどれくらいですか。また、育児休業の期間を自分で自由に決められるとしたら、どれだけの期間取りたいと思いますか。

図 -2-3 育児休業の取得期間（理想と現実）

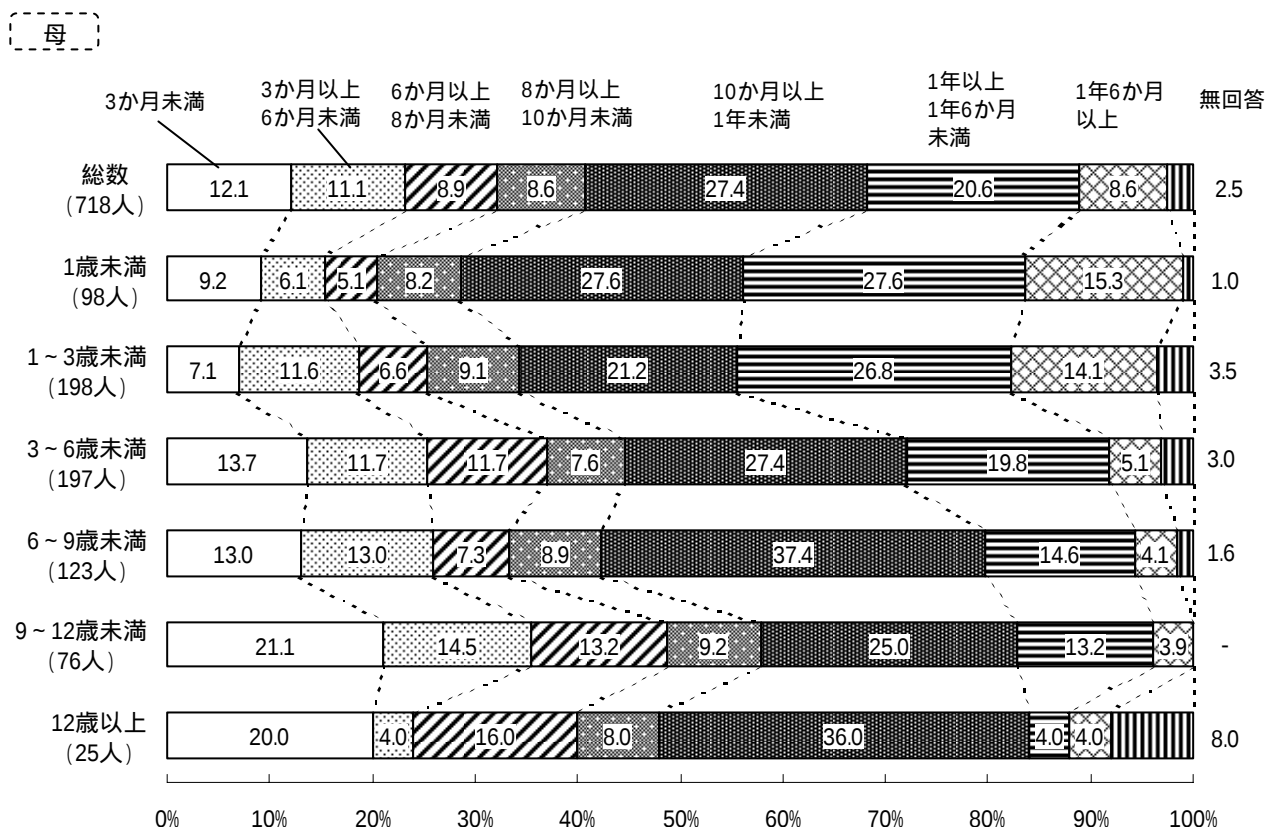


(2) 育児休業の取得期間（現実） - 1番下の子どもの年齢別

1番下の子どもの年齢が上がるほど、育児休業を「1年以上」取得した母親の割合は下がっている。

母親の育児休業の取得期間（現実）を、1番下の子どもの年齢別にみると、「1年以上」取得しているのは、1番下の子どもの年齢が1歳未満では42.9%、1～3歳未満では40.9%と4割以上であるが、3～6歳未満では24.9%、6～9歳未満では18.7%、9～12歳未満では17.1%、12歳以上では8.0%と、年齢が上がるにつれ割合が下がっている。（図 -2-4）

図 -2-4 育児休業の取得期間（現実） - 1番下の子どもの年齢別

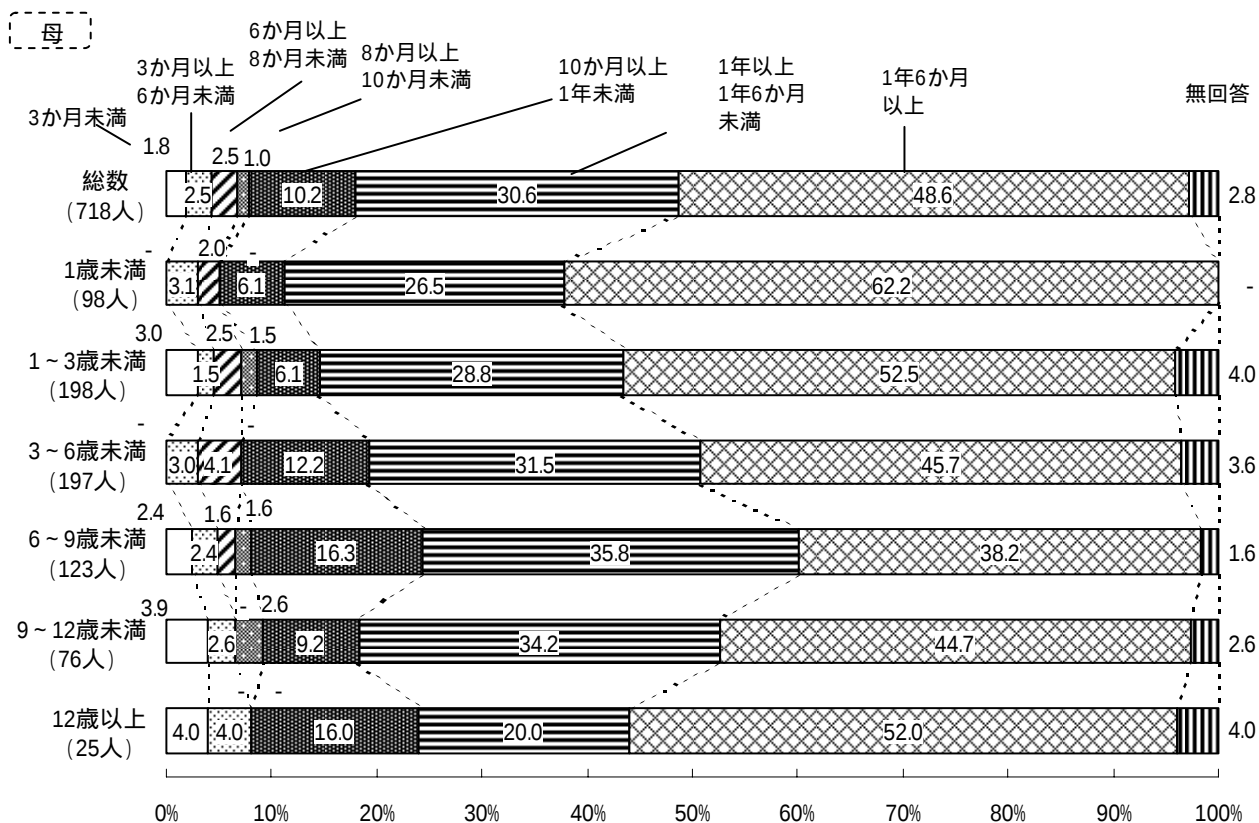


（注）父親は総数が44人のため省略した。

(3) 育児休業の取得期間（理想） - 1番下の子どもの年齢別

母親の理想の育児休業の取得期間を1番下の子どもの年齢別にみると、すべての年齢層で「1年6か月以上」の割合が最も高くなっており、特に1番下の子どもの年齢が1歳未満では、62.2%と6割を超えている。（図 -2-5）

図 -2-5 育児休業の取得期間（理想） - 1番下の子どもの年齢別



（注）父親は総数が44人のため省略した。

3 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップ

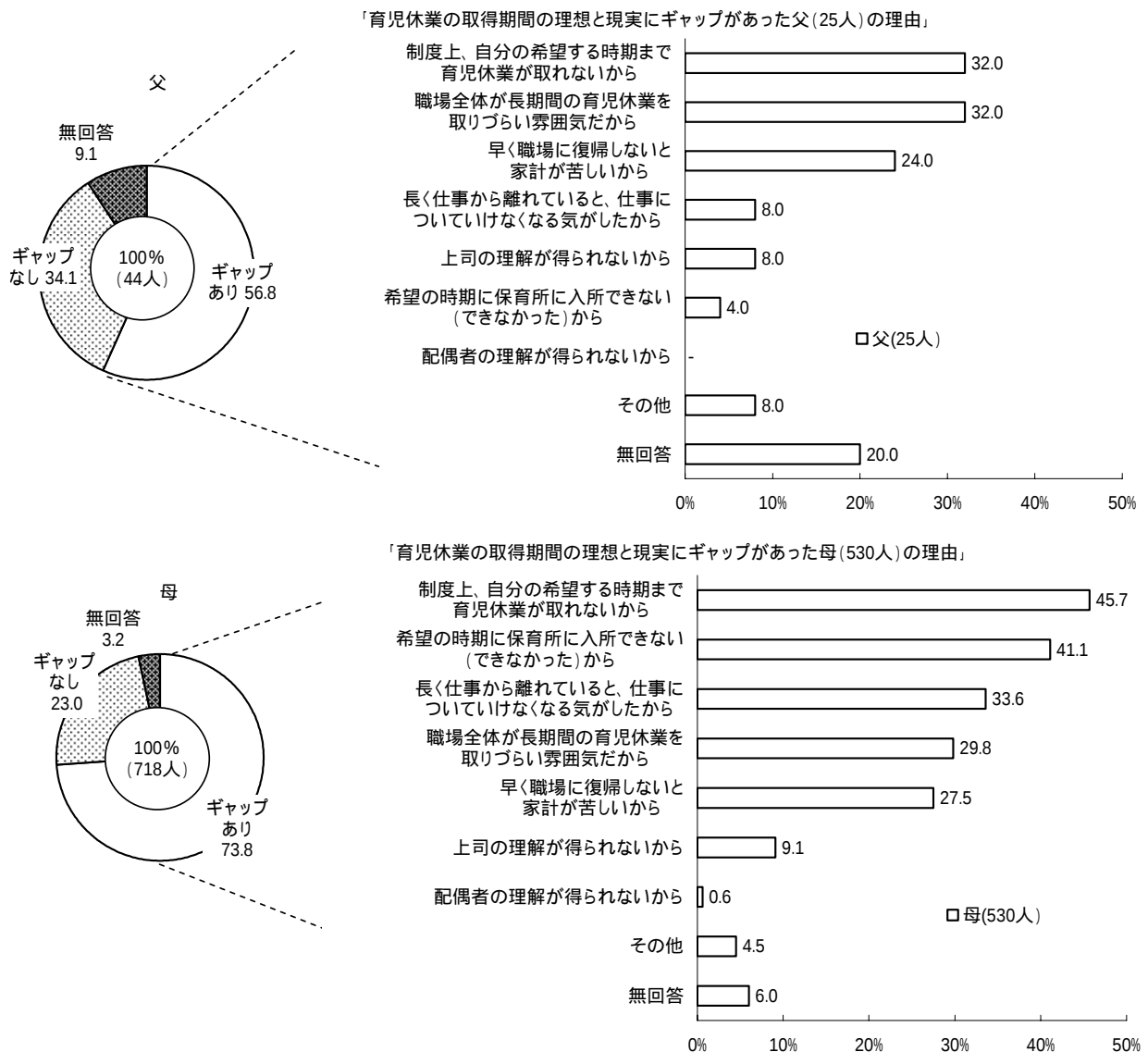
(1) 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップ

育児休業の取得期間の理想と現実にはギャップがある理由は、「制度上、自分の希望する時期まで育児休業が取れないから」の割合が父母ともに最も高い。

育児休業を実際に取得した期間と自分が取りたいと思う期間に差があった762人に、その理由を聞いたところ、「制度上、自分の希望する時期まで育児休業が取れないから」の割合が、父母とも高くなっている（父親32.0% 母親45.7%）。父親は「職場全体が長期間の育児休業を取りづらい雰囲気だから」も32.0%であるのに対して、母親は「希望の時期に保育所に入所できない（できなかった）から」の割合が41.1%、「長く仕事から離れていると仕事についていけなくなる気がしたから」の割合が33.6%と高くなっている。（図 -2-6）

問 育児休業を、実際に取得した期間と自分が取りたいと思う期間に差があるのはどうしてだと思いますか。

図 -2-6 育児休業の取得期間の理想と現実のギャップ

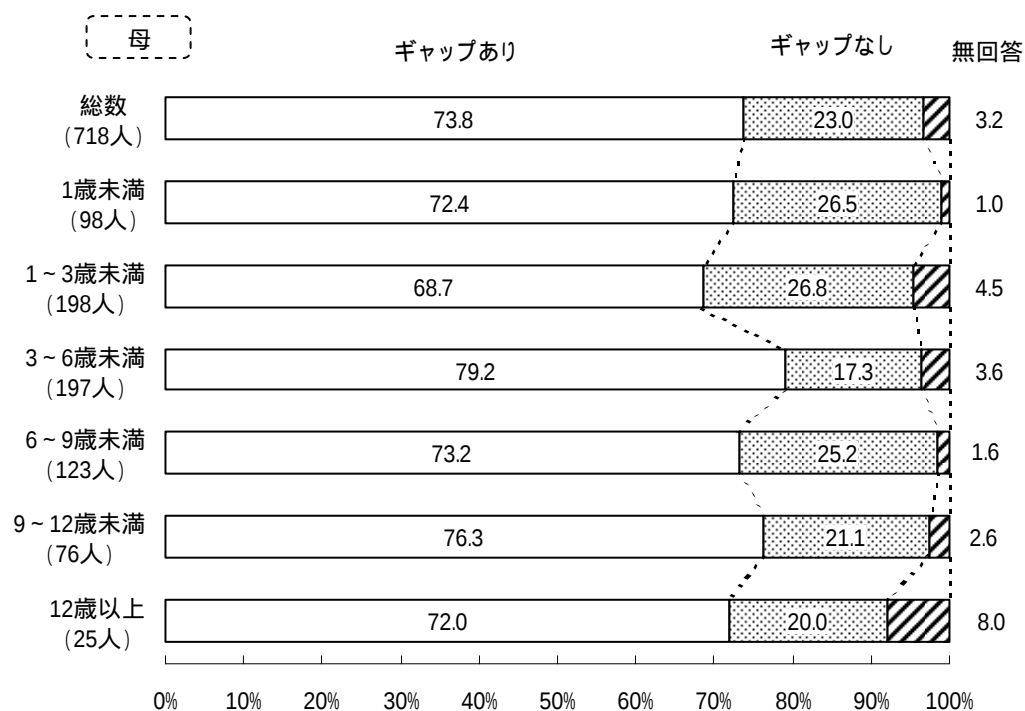


(2) 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無 - 1番下の子どもの年齢別

育児休業の取得期間の現実と理想のギャップがある母親の割合は、1番下の子どもの年齢が3～6歳未満で最も高い。

母親の育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無を1番下の子どもの年齢別にみると、「ギャップあり」の割合は、1番下の子どもの年齢が3～6歳未満で79.2%と最も高く、約8割となっている。「ギャップなし」の割合は1～3歳未満で26.8%、1歳未満で26.5%と他の年齢層に比べて高くなっている(図 -2-7)

図 -2-7 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無 - 1番下の子どもの年齢別



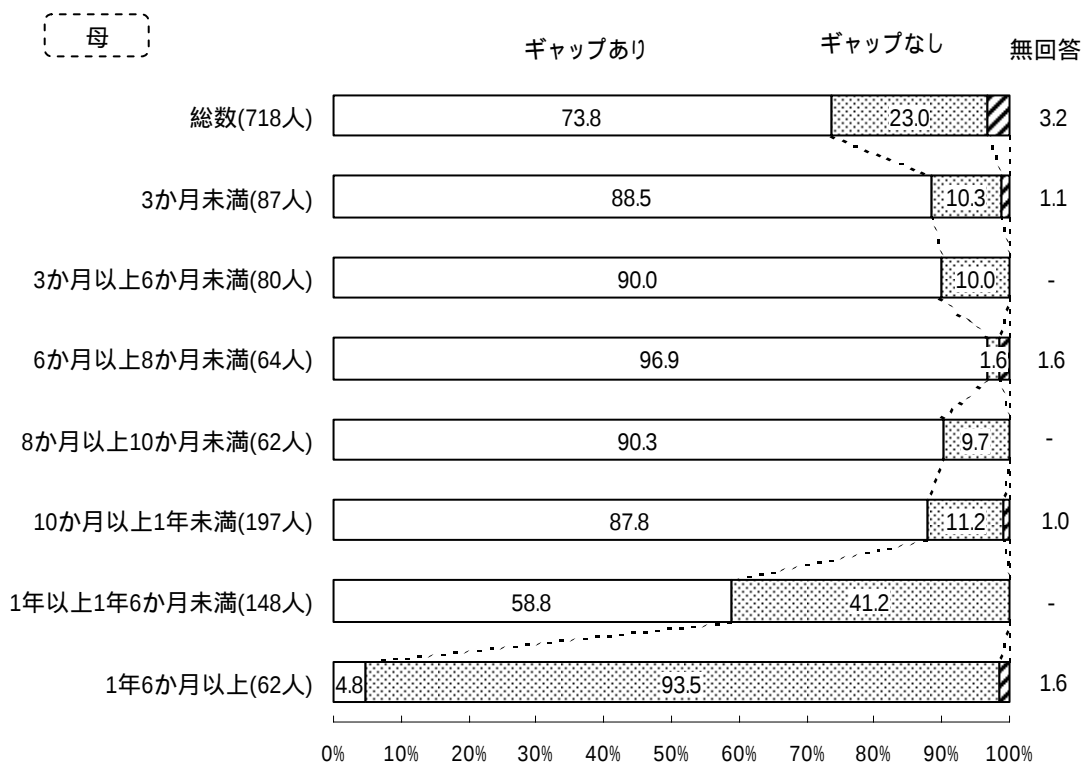
(注) 父親は総数が44人のため省略した。

(3) 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無 - 育児休業の取得期間(現実)別

育児休業を1年未満しか取得していない母親の場合、育児休業の取得期間の現実と理想にギャップがある割合が約9割であった。

母親の育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無を育児休業の取得期間(現実)別にみると、「ギャップあり」の割合が最も高かったのは、取得期間が6か月以上8か月未満で96.9%であった。取得期間が1年未満の場合は、約9割が「ギャップあり」と回答しているのに対し、「1年以上1年6か月未満」では58.8%、「1年6か月以上」になると4.8%に減少する。(図 -2-8)

図 -2-8 育児休業の取得期間の現実と理想のギャップの有無 - 育児休業の取得期間(現実)別



(注) 父親は総数が44人のため省略した。

(4) 育児休業の取得期間の現実と理想にギャップがある理由 - 1 番下の子どもの年齢別

母親の、育児休業の取得期間の現実と理想にギャップがある理由を 1 番下の子どもの年齢別にみると、1 番下の子どもの年齢が 1～3 歳未満では、「希望の時期に保育所に入所できない(できなかった)から」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「制度上、自分の希望する時期まで育児休業が取れないから」の 39.0%で、総数とは順序が逆になっている。また、「長く仕事から離れていると仕事についていけなくなる気がしたから」は、1 番下の子どもの年齢が 6～9 歳で特に高くなっており、38.9%となっている。(表 -2-1)

表 -2-1 育児休業の取得期間の現実と理想にギャップがある理由 - 1 番下の子どもの年齢別

	総 数	休 制 度 上 、 自 分 の 希 望 す る 時 期 ま で 育 児 休 業 が 取 れ な い か ら	上 司 の 理 解 が 得 ら れ な い か ら	取 職 場 づ ら い 雰 囲 気 だ か ら	か 早 く 職 場 に 復 帰 し な い と 家 計 が 苦 しい	い 長 く 仕 事 な く ら 離 れ て い る と 、 仕 事 に つ	配 偶 者 の 理 解 が 得 ら れ な い か ら	希 望 の 時 期 に 保 育 所 に 入 所 で き な い (で き な か っ た) か ら	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (530)	45.7	9.1	29.8	27.5	33.6	0.6	41.1	4.5	6.0
1歳未満	100.0 (71)	47.9	5.6	33.8	31.0	28.2	1.4	35.2	5.6	4.2
1～3歳未満	100.0 (136)	<u>39.0</u>	9.6	27.2	31.6	36.8	0.7	<u>50.0</u>	6.6	5.9
3～6歳未満	100.0 (156)	47.4	10.9	30.1	25.6	30.1	-	41.0	3.2	6.4
6～9歳未満	100.0 (90)	52.2	5.6	31.1	17.8	<u>38.9</u>	1.1	37.8	3.3	4.4
9～12歳未満	100.0 (58)	39.7	10.3	24.1	29.3	34.5	-	34.5	5.2	10.3
12歳以上	100.0 (18)	61.1	11.1	38.9	44.4	33.3	-	33.3	-	5.6

(注) 父親は総数が 25 人のため省略した。

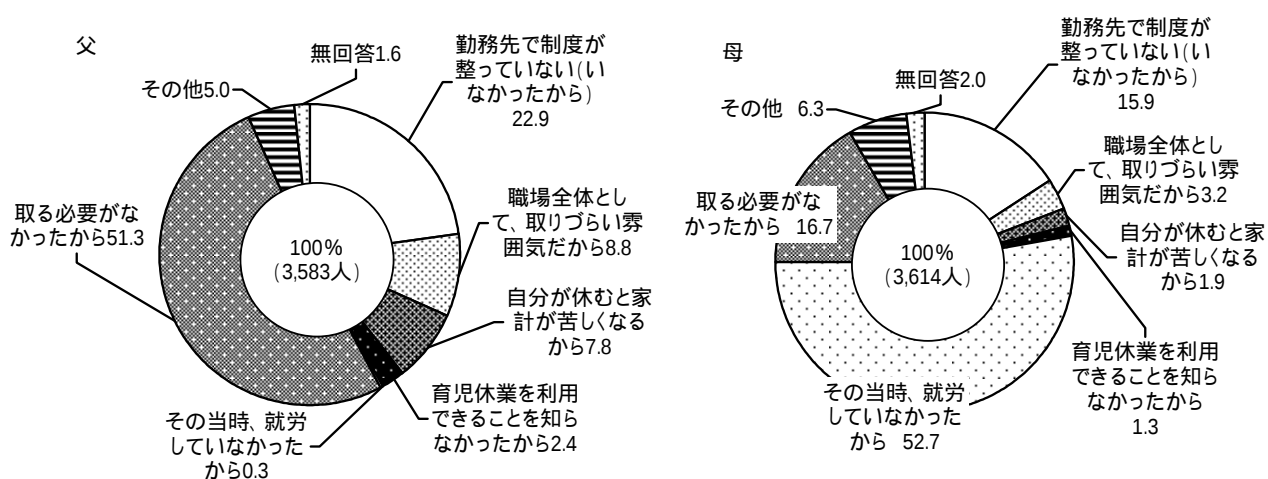
4 育児休業を利用しなかった理由

(1) 育児休業を利用しなかった理由

育児休業を利用しなかった7,197人に、その理由を聞いたところ、最も割合が高かったのは、父親は「取る必要がなかったから」で51.3%、母親は「その当時就労していなかったから」で52.7%とそれぞれ半数を超えている。(図 -2-9)

問 育児休業を利用しなかったのはなぜですか。

図 -2-9 育児休業を利用しなかった理由



(2) 育児休業を利用しなかった理由 - 1 番下の子どもの年齢別

育児休業を利用しなかった理由を 1 番下の子どもの年齢別にみると、父親の「取る必要がなかったから」の割合は、1 番下の子どもの年齢が上がるほど、高くなっている。逆に「職場全体として取りづらい雰囲気だから」の割合は、1 番下の子どもの年齢が下がるほど、高くなっている。

母親は、「その当時就労していなかったから」の割合が、1 番下の子どもの年齢が 3～6 歳未満で 54.5%、6～9 歳未満で 54.4%と他の年齢層に比べて高くなっている。(表 -2-2)

表 -2-2 育児休業を利用しなかった理由 - 1 番下の子どもの年齢別

	総数	か勤務先で制度が整っていない(いな	上司の理解が得られなかったから	職場全体として、取りづらい雰囲気だから	自分が休むと家計が苦しくなるから	配偶者の理解が得られなかったから	育児休業制度を利用できることを知らなかったから	その当時、就労していなかったから	取る必要がなかったから	その他	無回答
父	100.0 (3,583)	22.9	0.7	8.8	7.8	0.1	2.4	0.3	51.3	4.3	1.6
1歳未満	100.0 (361)	23.0	0.8	<u>11.1</u>	8.3	0.3	3.0	0.3	<u>46.0</u>	5.5	1.7
1～3歳未満	100.0 (835)	26.6	0.7	<u>10.8</u>	10.2	-	2.6	0.2	<u>43.2</u>	3.7	1.9
3～6歳未満	100.0 (896)	21.4	1.0	<u>9.9</u>	8.4	0.1	2.0	0.2	<u>50.3</u>	4.7	1.9
6～9歳未満	100.0 (764)	20.0	0.1	<u>7.6</u>	6.3	-	2.1	0.4	<u>57.3</u>	4.3	1.8
9～12歳未満	100.0 (609)	23.3	0.8	<u>5.1</u>	5.7	-	2.6	0.5	<u>58.0</u>	3.3	0.7
12歳以上	100.0 (115)	25.2	-	<u>4.3</u>	4.3	-	1.7	-	<u>59.1</u>	5.2	-
母	100.0 (3,614)	15.9	0.7	3.2	1.9	0.3	1.3	52.7	16.7	5.3	2.0
1歳未満	100.0 (297)	15.2	0.3	4.4	1.3	-	1.7	49.5	18.9	8.1	0.7
1～3歳未満	100.0 (723)	16.9	0.6	4.1	1.0	0.1	1.5	53.1	15.9	5.1	1.7
3～6歳未満	100.0 (829)	15.4	1.1	2.8	1.2	0.6	1.2	<u>54.5</u>	16.4	5.4	1.3
6～9歳未満	100.0 (811)	14.4	0.4	3.1	1.7	0.2	0.7	<u>54.4</u>	16.2	5.5	3.3
9～12歳未満	100.0 (690)	15.8	0.9	3.3	2.3	0.4	1.7	52.9	16.5	4.1	2.0
12歳以上	100.0 (262)	20.2	0.4	0.8	6.9	0.4	0.8	43.9	19.5	5.0	2.3

参考「育児休業の推移」

育児休業取得率の政府目標は男性 10%、女性 80%であるが、平成 19 年度の厚生労働省の雇用均等基本調査によると、女性の育児休業取得率は 89.7%と目標値を超えた。

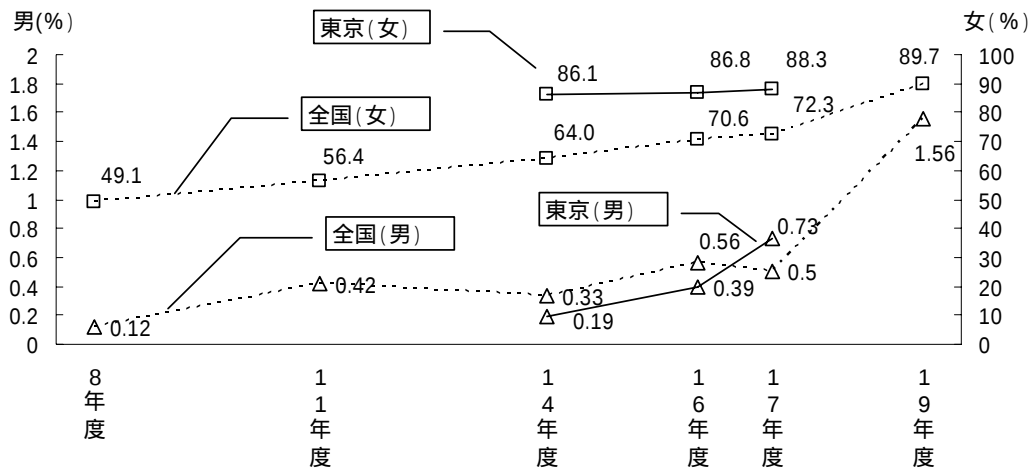
一方、男性の育児休業取得率は前回から 1.06 ポイント上昇して初めて 1%を超えたが、依然として低い水準だった。

この厚生労働省の調査は、出産時点で会社に在籍していた男女を対象にしており、出産、子育てのために退職した人は含まれていない。(図 参考 11)

本調査では、これらの人を含め調査をした結果、育児休業取得率は男性(父)1.6%、女性は 16.5%であった。

なお、女性が出産を理由に退職した割合(全国)は年々増加傾向で、子の出生年が 2000 年～2004 年では、41.3%と 4 割の人は出産のために退職をしており、同年の就業継続者の育児休業利用者(第 1 子妊娠前就業～育児休業取得～第 1 子 1 歳時就業)は年々増加しているものの、13.8%にとどまっている。(図 参考 12)

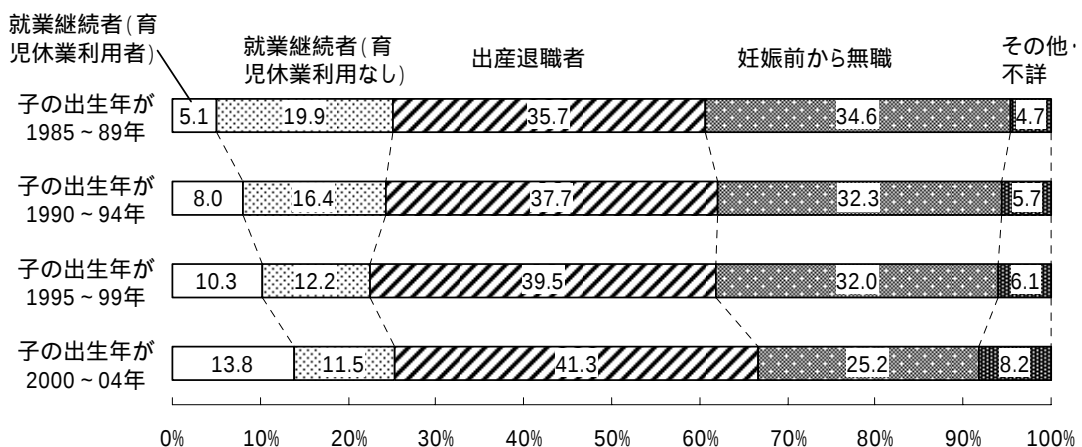
図 参考 11 育児休業の推移(東京都、全国)



資料：全国は雇用基本調査(厚生労働省)

東京都は東京都男女雇用平等参画状況調査(東京都産業労働局)

図 参考 12 子どもの出生年別 - 第 1 子出産前後の就業経歴の構成(全国)



資料：平成 17 年第 13 回出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)

第3章 子どもの看護休暇制度

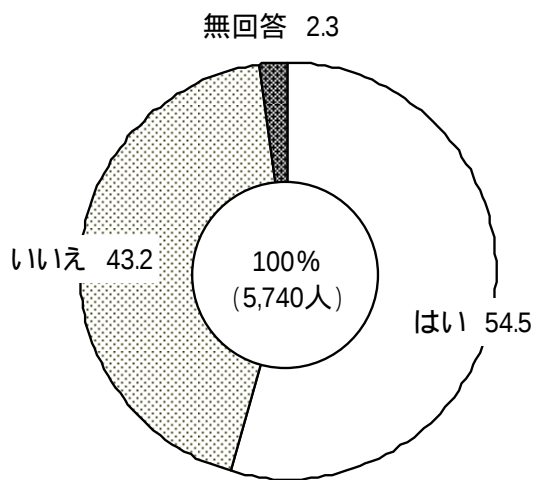
この章では、現在働いている5,740人を対象に、子どもの看護休暇制度等について聞いた。

1 子どもが通っている施設を欠席したことがあるか

過去1年間に子どもが病気、けがのために通っている施設を休まなければならなかったことがあるか聞いたところ、「はい」が54.5%で半数を超えている。(図 -3-1)

問 過去1年間に、お子さんが病気、けがのために通っている施設(学校、保育所等)を休まなければならなかった(早退を含む)ことはありますか。

図 -3-1 子どもが通っている施設を欠席したことがあるか

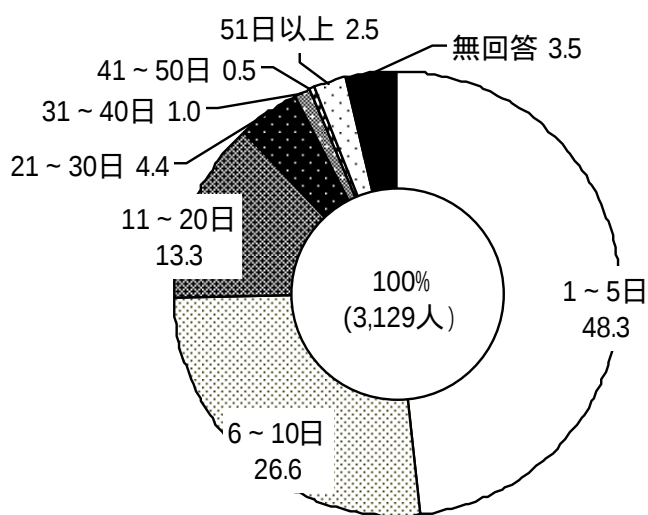


2 施設を休んだ日数

過去 1 年間に、子どもが病気、けがのために通っている施設を休んだことがあると回答した 3,129 人に、施設を休んだ日数を聞いたところ、1～5 日の割合が最も高く 48.3%、次いで 6～10 日の 26.6%となっている。(図 -3-2)

問 施設を休まなければならなかった日数は過去 1 年間で何日ぐらいですか。お子さんが 2 人以上いる場合は、合計日数をお答えください。

図 -3-2 施設を休んだ日数



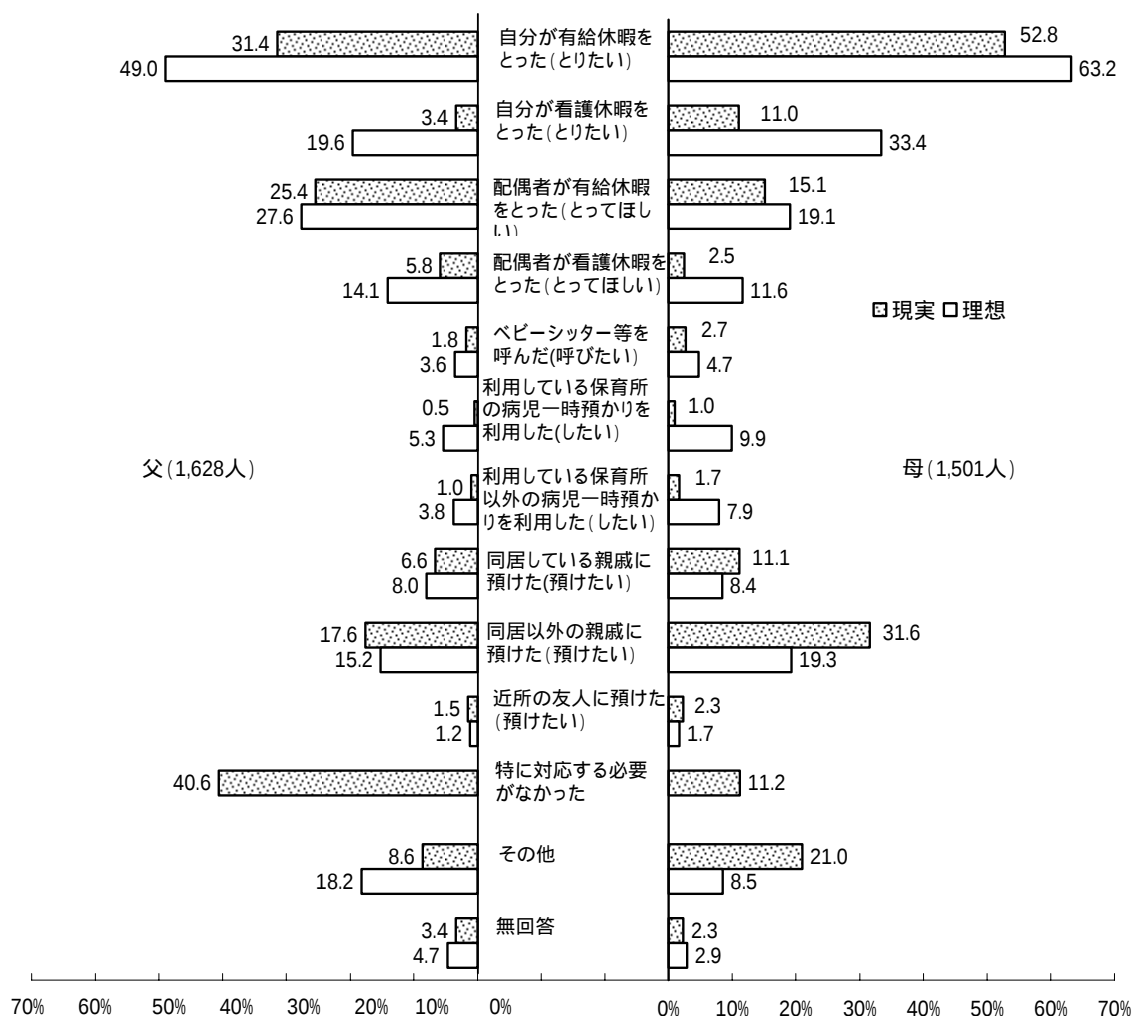
3 子どもが病気、けがをしたときの対応（理想と現実）

（１） 子どもが病気、けがをしたときの対応（理想と現実）〔複数回答〕

子どもが病気、けがをしたときにどのように対応したか（現実）、またどのように対応したいか（理想）を聞いたところ、現実については、父親は「特に対応する必要がなかった」の割合が最も高く 40.6%であったのに対して、母親は「自分が有給休暇をとった」が 52.8%で最も高かった。理想については、父母とも「自分が有給休暇をとりたい」の割合が最も高く、父親 49.0%、母親 63.2%となっている。（図 -3-3）

問 お子さんが病気、けがをしたとき、どのように対応しましたか。
 お子さんが病気、けがをしたときどのように対応したいですか。

図 -3-3 子どもが病気、けがをしたときの対応（理想と現実）〔複数回答〕



(2) 子どもが病気、けがをしたときの対応（現実）〔複数回答〕 - 従業上の地位別

子どもが病気、けがをしたときの対応（現実）を従業上の地位別にみると、父親では、正規の職員・従業員の 36.1%が「自分が有給休暇をとった」と回答し、他に比べて高くなっている。

母親では、正規の職員・従業員の場合、「自分が有給休暇をとった」の割合が 77.9%と 8 割弱、また、「自分が看護休暇をとった」の割合も 18.5%と他に比べて高くなっている。「同居以外の親戚に預けた」の割合は、労働者派遣事業所の派遣職員（47.4%）、正規の職員・従業員（44.0%）が高くなっている。（表 -3-1）

表 -3-1 子どもが病気、けがをしたときの対応（現実）〔複数回答〕 - 従業上の地位別

	総 数	自 分 が 有 給 休 暇 を と っ た	自 分 が 看 護 休 暇 を と っ た	配 偶 者 が 有 給 休 暇 を と っ た	配 偶 者 が 看 護 休 暇 を と っ た	ベ ー シ ッ タ ー 等 を 呼 ん だ	利 用 し て い る 保 育 所 の 病 児 一 時 預 か り を 利 用 し た	利 用 し て い る 保 育 所 以 外 （ 保 育 マ マ 等 を 含 む ） の 病 児 一 時 預 か り を 利 用 し た	同 居 し て い る 親 戚 に 預 け た	同 居 以 外 の 親 戚 に 預 け た	近 所 の 友 人 に 預 け た	特 に 対 応 す る 必 要 が な か っ た	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (1,628)	31.4	3.4	25.4	5.8	1.8	0.5	1.0	6.6	17.6	1.5	40.6	8.6	3.4
自営業	100.0 (221)	10.0	0.9	17.6	7.7	2.7	0.5	0.5	7.2	12.7	2.7	48.0	12.7	4.5
正規の職員・従業員	100.0 (1,246)	<u>36.1</u>	4.3	27.4	5.6	1.7	0.5	1.2	6.7	18.7	1.4	39.0	7.7	2.9
会社・団体等の役員	100.0 (101)	27.7	1.0	19.8	2.0	2.0	-	-	4.0	11.9	1.0	44.6	7.9	7.9
パート・アルバイト	100.0 (20)	15.0	-	20.0	15.0	-	-	5.0	5.0	30.0	-	25.0	25.0	-
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (11)	27.3	-	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	-	45.5	9.1	-
契約職員・嘱託	100.0 (15)	26.7	-	26.7	-	-	6.7	-	6.7	26.7	-	60.0	-	-
母	100.0 (1,501)	52.8	11.0	15.1	2.5	2.7	1.0	1.7	11.1	31.6	2.3	11.2	21.0	2.3
自営業	100.0 (141)	18.4	11.3	2.1	1.4	4.3	1.4	1.4	5.7	19.1	4.3	24.1	31.2	3.5
正規の職員・従業員	100.0 (480)	<u>77.9</u>	<u>18.5</u>	30.6	5.2	4.6	1.7	2.5	13.1	<u>44.0</u>	1.3	3.8	8.5	1.5
会社・団体等の役員	100.0 (19)	63.2	10.5	15.8	-	5.3	-	-	21.1	31.6	5.3	5.3	15.8	5.3
パート・アルバイト	100.0 (721)	43.3	6.9	7.8	1.2	0.7	0.6	1.5	11.2	25.5	2.4	13.3	27.0	2.4
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (57)	66.7	7.0	14.0	3.5	-	-	1.8	5.3	<u>47.4</u>	1.8	7.0	21.1	1.8
契約職員・嘱託	100.0 (35)	25.7	5.7	5.7	-	11.4	-	-	8.6	28.6	2.9	28.6	22.9	8.6

(3) 子どもが病気、けがをしたときの対応(理想)[複数回答] - 従業上の地位別

子どもが病気、けがをしたときの対応(理想)に従業上の地位別にみると、正規の職員・従業員の父親は、「自分が有給休暇をとりたい」が53.7%、「配偶者に有給休暇をとってほしい」が28.7%であるのに対し、正規の職員・従業員の母親は、「自分が有給休暇をとりたい」が72.3%、「配偶者に有給休暇をとってほしい」が29.4%となっている。また、「自分が看護休暇をとりたい」の割合が44.4%と高くなっている。労働者派遣事業所の派遣社員の母親は「配偶者に有給休暇をとってほしい」の割合が35.1%と他と比べて高くなっている。(表 -3-2)

表 -3-2 子どもが病気、けがをしたときの対応(理想)[複数回答] - 従業上の地位別

	総 数	自 分 が 有 給 休 暇 を と り た い	自 分 が 看 護 休 暇 を と り た い	配 偶 者 に 有 給 休 暇 を と っ て ほ し い	配 偶 者 に 看 護 休 暇 を と っ て ほ し い	ベ ビ ー シ ッ タ ー 等 を 呼 び た い	利 用 し た い る 保 育 所 の 病 児 一 時 預 か り を	含 む (利 用 し た い る 保 育 所 以 外 (保 育 マ マ 等 を 利 用 し た い る 病 児 一 時 預 か り を	同 居 し て い る 親 戚 に 預 け た い	同 居 以 外 の 親 戚 に 預 け た い	近 所 の 友 人 に 預 け た い	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (1,628)	49.0	19.6	27.6	14.1	3.6	5.3	3.8	8.0	15.2	1.2	18.2	4.7
自営業	100.0 (221)	24.4	13.6	26.2	17.2	5.0	7.2	5.0	13.1	15.4	3.2	27.6	5.9
正規の職員・従業員	100.0 (1,246)	<u>53.7</u>	20.8	<u>28.7</u>	13.9	3.3	5.3	3.9	7.3	15.7	1.0	16.5	4.1
会社・団体等の役員	100.0 (101)	41.6	14.9	17.8	8.9	5.0	2.0	2.0	6.9	8.9	1.0	19.8	9.9
パート・アルバイト	100.0 (20)	50.0	25.0	45.0	20.0	5.0	15.0	5.0	5.0	10.0	-	-	-
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (11)	72.7	36.4	27.3	27.3	-	-	-	-	18.2	-	9.1	-
契約職員・嘱託	100.0 (15)	53.3	20.0	13.3	-	-	-	-	6.7	20.0	-	40.0	6.7
母	100.0 (1,501)	63.2	33.4	19.1	11.6	4.7	9.9	7.9	8.4	19.3	1.7	8.5	2.9
自営業	100.0 (141)	34.8	32.6	11.3	8.5	5.0	7.1	5.7	10.6	14.2	2.8	24.1	8.5
正規の職員・従業員	100.0 (480)	<u>72.3</u>	<u>44.4</u>	<u>29.4</u>	20.2	5.8	12.9	7.9	6.3	20.6	1.7	3.3	1.5
会社・団体等の役員	100.0 (19)	52.6	15.8	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	26.3	26.3	-	10.5	5.3
パート・アルバイト	100.0 (721)	63.8	27.3	12.5	6.7	3.2	8.0	8.6	8.7	18.0	1.0	8.3	2.9
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (57)	73.7	28.1	<u>35.1</u>	12.3	8.8	17.5	8.8	10.5	31.6	7.0	1.8	-
契約職員・嘱託	100.0 (35)	37.1	28.6	8.6	5.7	8.6	5.7	2.9	8.6	34.3	-	22.9	8.6

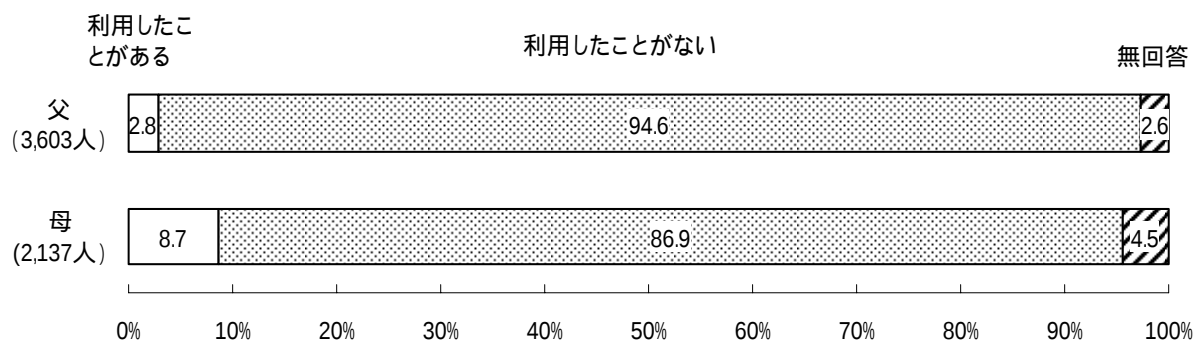
4 看護休暇制度の利用の有無

(1) 看護休暇制度の利用の有無

現在働いている 5,740 人に看護休暇制度を利用したことあるか聞いたところ、利用したことがあるのは、父 2.8%、母 8.7%とそれぞれ 1 割に満たなかった。(図 -3-4)

問 あなたは、お子さんが病気、けがをしたとき、看護休暇制度を利用したことがありますか。

図 -3-4 看護休暇制度の利用の有無

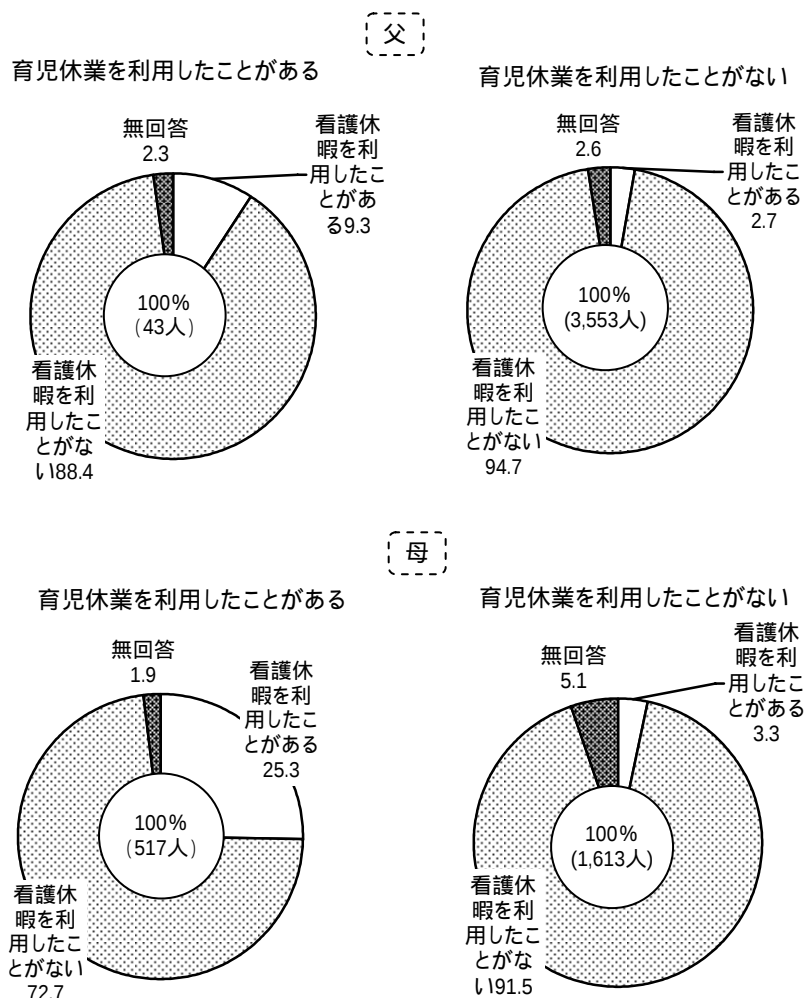


(2) 看護休暇制度の利用の有無 - 育児休業制度の利用の有無別

育児休業を利用したことがある母親の4人に1人は看護休暇制度を利用したことがある。

看護休暇制度の利用の有無を、育児休業制度の利用の有無別にみると、父親では、育児休業を利用したことがある人では、看護休暇制度を「利用したことがある」人の割合は9.3%であったのに対し、育児休業を利用したことがない人では2.7%であった。また、母親も、育児休業を利用したことがある人は、看護休暇を「利用したことがある」のが25.3%であったのに対し、育児休業を利用したことがない人では3.3%であった。(図 -3-5)

図 -3-5 看護休暇制度の利用の有無 - 育児休業制度の利用の有無別



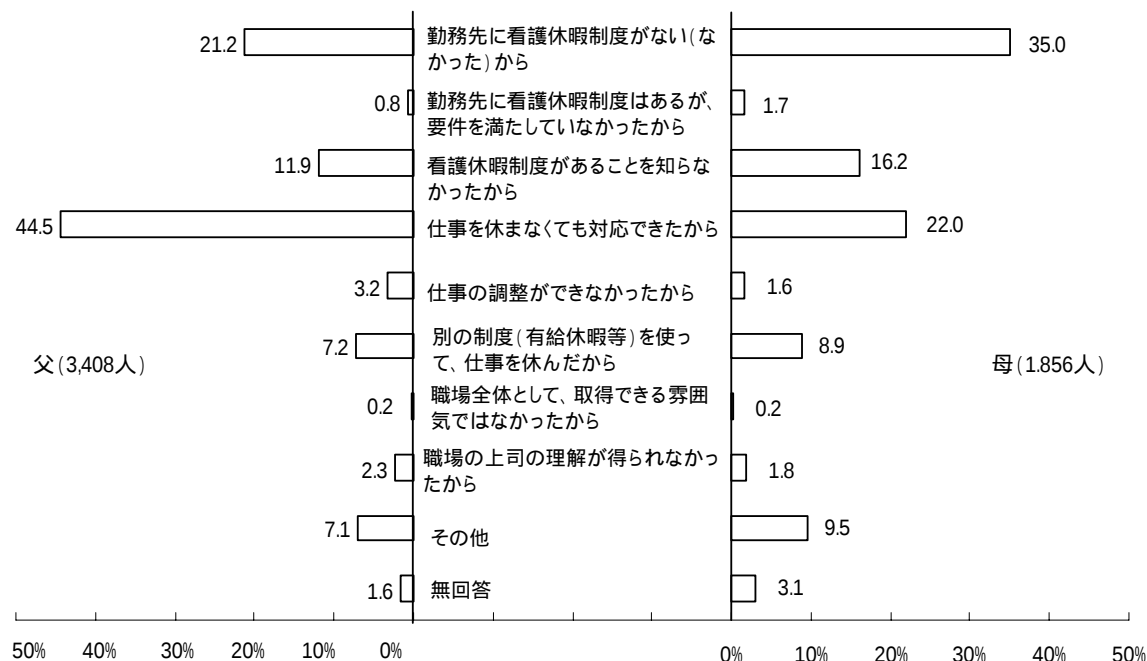
(注) 現在働いている人が総数のため、「育児休業を利用したことがない」人の中には、その当時就労していなかった人を含む。

5 看護休暇制度を利用したことがない理由

看護休暇制度を利用したことがない回答した 5,264 人にその理由を聞いたところ、父親は「仕事を休まなくても対応できたから」の割合が最も高く 44.5%であったのに対し、母親は「勤務先に看護休暇制度がない(なかった)から」の 35.0%が最も高かった。(図 -3-6)

問 (看護休暇制度を) 利用したことがないのはなぜですか。

図 -3-6 看護休暇制度を利用したことがない理由



第4章 子育てに関して感じること

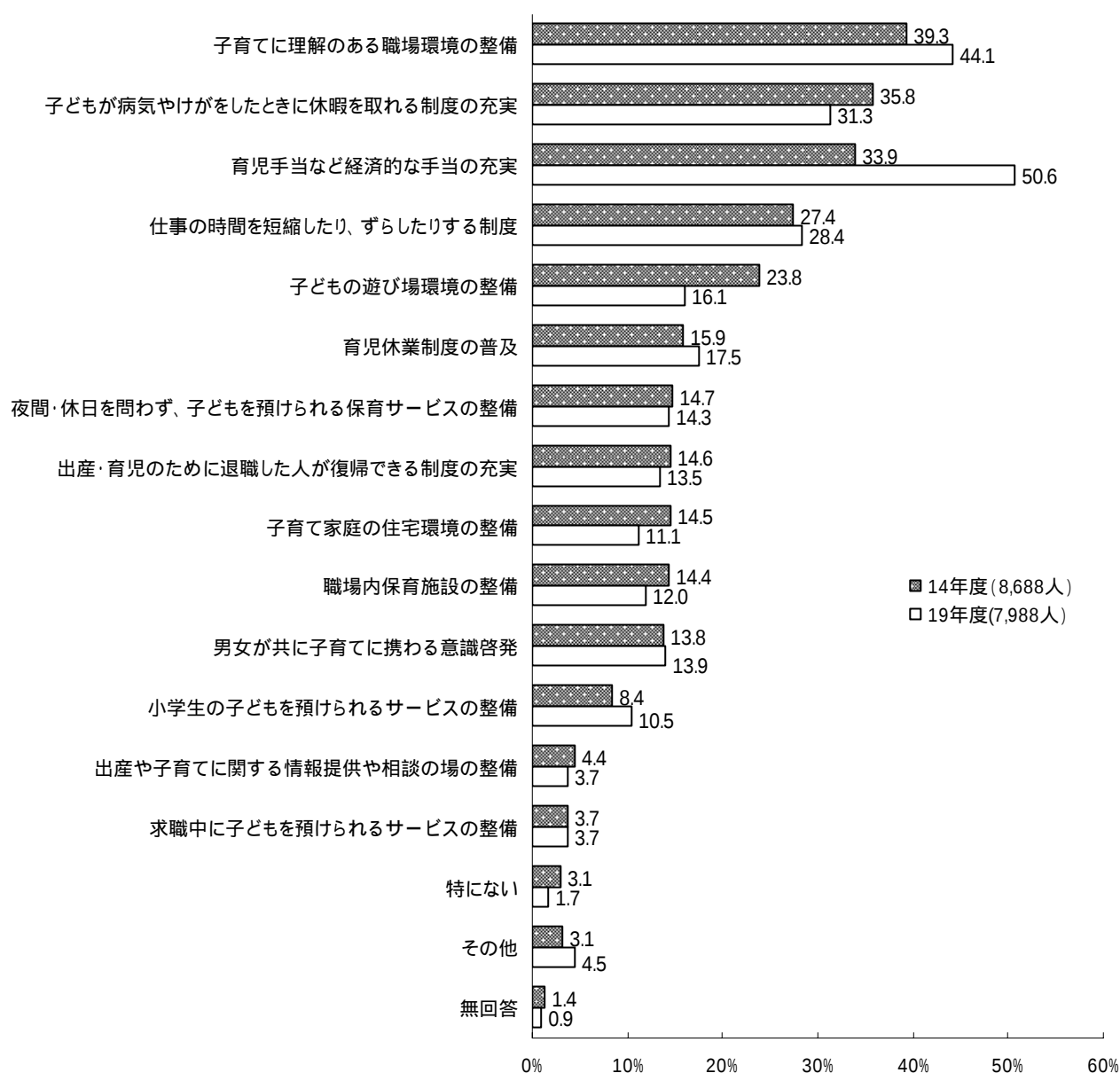
1 子育てをしやすいするために必要なもの

(1) 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 前回調査との比較

出産や子育てをしやすいためには何が必要だと思うか聞いたところ、「育児手当など経済的な手当の充実」の割合が50.6%と最も高くなっており、次いで「子育てに理解のある職場環境の整備」の44.1%となっている。(図 -4-1)

問 あなたは、出産や子育てをしやすいためには、何が必要だと思いますか。

図 -4-1 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(2) 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 地域別

子育てをしやすいするために必要なものを地域別にみると、「育児手当など経済的手当の充実」の割合は、南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）で63.5%、西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）で58.5%と他の地域に比べて高くなっている。また、「子育てに理解のある職場環境の整備」は、区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）で47.4%、北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）で47.0%と高くなっている。その他では、南多摩で「子どもの遊び場環境の整備」が23.2%と総数と比べて7.1ポイント高くなっているのが目立つ。（表 -4-1）

表 -4-1 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 地域別

	総 数	仕 事 の 時 間 を 短 縮 し た り 、 ず ら し る 制 度	育 児 休 業 制 度 の 普 及	育 児 手 当 に 理 解 の あ る 職 場 環 境 の 整 備	育 児 手 当 な ど 経 済 的 な 手 当 の 充 実	職 場 内 保 育 施 設 の 整 備	出 産 ・ 育 児 の た め に 退 職 し た 人 が 復 帰 で き る 制 度 の 充 実	休 暇 を 取 れ る 制 度 の 充 実	子 ど も が 病 気 や け が を し た と き に 預 け ら れ る 保 育 サ ー ビ ス の 整 備	夜 間 ・ 休 日 を 問 わ ず 、 子 ど も を 預 け ら れ る 保 育 サ ー ビ ス の 整 備	小 学 生 の 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	求 職 中 に 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	出 産 や 子 育 て に 関 する 情 報 提 供 や 相 談 の 場 の 整 備	子 育 て 家 庭 の 住 宅 環 境 の 整 備	男 女 が 共 に 子 育 て に 携 わ る 意 識 啓 発	子 ど も の 遊 び 場 環 境 の 整 備	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (7,988)	28.4	17.5	44.1	50.6	12.0	13.5	31.3	14.3	10.5	3.7	3.7	11.1	13.9	<u>16.1</u>	4.5	1.7	0.9	
区部 計	100.0 (5,379)	28.4	17.9	44.4	50.5	12.1	13.1	31.0	14.6	9.9	3.5	3.8	12.1	14.2	15.9	4.5	1.8	0.9	
区中央部	100.0 (380)	30.5	16.1	<u>47.4</u>	43.7	14.7	15.0	23.4	16.3	12.4	2.6	3.4	10.5	13.4	17.6	5.0	1.6	1.6	
区南部	100.0 (637)	29.8	16.2	43.8	50.5	11.8	13.3	33.4	12.2	6.4	4.2	2.0	13.5	15.4	14.6	4.7	2.4	0.6	
区西南部	100.0 (779)	30.8	19.8	44.4	43.5	12.7	15.8	25.4	17.6	10.0	3.0	3.2	14.1	13.4	17.6	6.4	0.9	0.9	
区西部	100.0 (748)	29.9	18.4	45.6	48.8	11.2	11.5	29.5	15.9	12.3	3.3	4.3	13.8	14.8	14.0	4.7	2.1	0.7	
区西北部	100.0 (1,257)	28.2	18.4	44.9	51.6	11.6	12.6	32.6	15.0	9.9	2.8	4.3	10.7	15.1	15.2	3.7	2.1	0.8	
区東北部	100.0 (797)	26.9	18.6	43.8	55.8	10.7	12.7	32.4	12.0	10.4	3.8	4.1	12.3	11.8	17.8	2.6	1.8	0.8	
区東部	100.0 (781)	23.9	16.4	41.9	55.6	13.6	11.8	35.6	13.4	8.7	4.6	4.5	10.0	14.7	15.1	5.1	1.5	1.2	
市・町・村部計	100.0 (2,609)	28.5	16.6	43.6	50.8	11.9	14.3	32.0	13.8	11.6	4.1	3.4	9.0	13.2	16.7	4.6	1.5	1.0	
西多摩	100.0 (260)	26.5	18.5	40.8	<u>58.5</u>	10.0	12.7	32.3	12.7	9.6	5.0	2.3	5.8	13.1	15.4	3.8	1.9	1.9	
南多摩	100.0 (813)	25.6	17.2	39.0	<u>63.5</u>	8.4	13.4	19.1	13.4	9.0	3.3	4.4	12.0	9.3	<u>23.2</u>	4.4	2.2	0.8	
北多摩西部	100.0 (425)	27.5	18.1	40.7	50.8	13.2	13.2	27.8	11.8	13.2	5.2	2.8	9.6	16.9	17.9	5.2	1.4	1.6	
北多摩南部	100.0 (675)	31.3	15.6	43.7	48.9	11.0	13.9	31.9	16.9	10.8	3.3	2.8	11.4	12.4	14.7	3.6	2.2	0.9	
北多摩北部	100.0 (436)	30.0	17.0	<u>47.0</u>	48.6	12.6	15.8	34.4	14.7	10.6	3.4	4.6	7.1	12.4	15.4	5.5	1.1	0.7	

(3) 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

子育てをしやすいするために必要なものは、父親は「経済的な手当の充実」、母親は「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が最も高い。

子育てをしやすいするために必要だと思うものを性・年齢階級別にみると、父親は「育児手当など経済的な手当の充実」の割合が最も高く 59.7%、次いで「子育てに理解のある職場環境の整備」の 39.7%であるのに対して、母親は、「子育てに理解のある職場環境の整備」の 47.8%が最も高く、2番目が「育児手当など経済的な手当の充実」(43.0%)となっている。3番目に高いのは、父親は「仕事の時間を短縮したり、ずらしたりする制度」(28.3%)、母親は「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実」(39.1%)である。(表 -4-2)

表 -4-2 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総数	仕事の時間を短縮したり、ずらしたりする制度	育児休業制度の普及	子育てに理解のある職場環境の整備	育児手当など経済的な手当の充実	職場内保育施設の整備	出産・育児のための退職した人が復帰できる制度の充実	子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実	夜間・休日問わず、子どもの預けられる保育サービスの整備	小学生の子どもを預けられるサービスの整備	求職中に子どもを預けられるサービスの整備	出産や子育てに関する情報提供や相談の場の整備	子育て家庭の住宅環境の整備	男女が共に子育てに携わる意識の啓発	子どもの遊び場環境の整備	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (7,988)	28.4	17.5	44.1	50.6	12.0	13.5	31.3	14.3	10.5	3.7	3.7	11.1	13.9	16.1	4.5	1.7	0.9
父	100.0 (3,634)	28.3	20.6	39.7	59.7	8.3	11.1	21.9	15.9	7.9	2.1	4.2	14.2	12.0	18.1	4.0	2.6	0.9
29歳以下	100.0 (204)	29.4	22.1	34.3	72.5	8.3	7.4	25.0	14.2	2.0	1.5	4.9	17.6	11.8	20.1	5.4	1.5	1.0
30～34歳	100.0 (599)	27.5	19.0	42.2	67.4	9.0	10.9	21.7	13.0	4.5	1.3	3.8	17.0	13.2	18.5	3.5	1.5	0.8
35～39歳	100.0 (1,044)	28.0	20.0	41.7	61.6	9.8	9.8	20.9	15.4	8.6	2.2	3.7	15.3	10.2	19.0	4.4	2.4	1.0
40～44歳	100.0 (1,023)	29.2	21.4	40.5	57.0	7.4	11.8	22.0	16.3	9.1	2.2	4.3	12.5	11.1	17.9	3.1	2.2	0.4
45～49歳	100.0 (560)	28.4	20.2	36.8	52.1	6.6	11.6	21.6	18.6	9.8	2.3	3.8	11.1	13.8	15.9	5.2	5.2	1.8
50歳以上	100.0 (204)	27.0	24.5	31.4	49.5	7.4	17.2	25.5	18.1	8.3	2.5	6.9	13.7	17.2	16.7	2.9	2.9	1.5
母	100.0 (4,354)	28.5	14.8	47.8	43.0	15.2	15.5	39.1	13.1	12.6	5.0	3.3	8.5	15.4	14.5	5.0	1.0	0.9
29歳以下	100.0 (368)	22.0	13.9	47.0	55.7	22.6	12.5	41.3	12.2	5.2	8.7	3.5	9.5	13.0	12.8	3.8	0.3	1.4
30～34歳	100.0 (920)	28.2	13.0	48.0	48.9	18.3	12.4	39.3	13.9	11.0	6.0	3.2	8.8	14.9	14.1	5.2	0.7	1.0
35～39歳	100.0 (1,466)	27.8	14.2	47.6	42.6	14.2	14.0	38.1	12.8	14.3	5.4	3.6	9.8	15.8	16.2	5.1	1.1	0.8
40～44歳	100.0 (1,146)	31.5	15.4	49.0	37.2	13.2	18.1	40.3	12.8	14.2	3.5	2.7	7.4	16.4	14.9	5.2	1.0	0.3
45～49歳	100.0 (379)	27.7	19.3	47.2	36.9	10.8	23.7	37.2	14.2	13.2	2.4	4.0	5.0	14.2	10.8	4.7	1.3	1.8
50歳以上	100.0 (74)	33.8	24.3	36.5	37.8	13.5	16.2	37.8	10.8	9.5	5.4	1.4	6.8	16.2	8.1	2.7	2.7	5.4

(4) 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 世帯類型（母子・父子世帯）別

子育てをしやすいするために必要なものは、母子世帯では「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が最も高く、約半数であった。

子育てをしやすいするために必要なものを世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が 48.8%と最も高く、両親世帯と比べて 5 ポイント高くなっている。また、「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実」の割合は 42.2%と、両親世帯の 30.7%と比べて 10 ポイント以上高くなっている。（表 -4-3）

表 -4-3 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕

- 世帯類型（母子・父子世帯）別

	総 数	仕 事 の 時 間 を 短 縮 し た り 、 ず ら	育 児 休 業 制 度 の 普 及	子 育 て に 理 解 の あ る 職 場 環 境 の 整 備	実 子 育 児 手 当 な ど 経 済 的 な 手 当 の 充 実	職 場 内 保 育 施 設 の 整 備	出 産 ・ 育 児 の た め に 退 職 し た 人 が 復 帰 で き る 制 度 の 充 実	子 ど も が 病 気 や け が を し た と き に 休 暇 を 取 れ る 制 度 の 充 実	夜 間 ・ 休 日 を 問 わ ず 、 子 ど も を 預 け ら れ る 保 育 サ ー ビ ス の 整 備	小 学 生 の 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	求 職 中 に 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	出 産 や 子 育 て に 関 する 情 報 提 供 や 相 談 の 場 の 整 備	子 育 て 家 庭 の 住 宅 環 境 の 整 備	啓 発 男 女 が 共 に 子 育 て に 携 わ る 意 識	子 ど も の 遊 び 場 環 境 の 整 備	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (7,988)	28.4	17.5	44.1	50.6	12.0	13.5	31.3	14.3	10.5	3.7	3.7	11.1	13.9	16.1	4.5	1.7	0.9
両親世帯	100.0 (7,402)	28.4	17.7	<u>43.8</u>	50.7	12.2	13.5	<u>30.7</u>	14.3	10.1	3.6	3.7	10.9	14.3	16.7	4.7	1.7	0.9
ひとり親世帯	100.0 (586)	28.0	14.5	47.8	49.3	10.1	12.8	39.6	15.5	15.2	4.9	2.9	12.6	8.9	9.6	2.2	2.4	1.5
母子世帯	100.0 (521)	28.2	13.6	<u>48.8</u>	48.6	10.7	12.7	<u>42.2</u>	15.2	15.4	5.0	2.3	12.7	9.2	8.8	2.3	1.7	1.7
父子世帯	100.0 (65)	26.2	21.5	40.0	55.4	4.6	13.8	18.5	18.5	13.8	4.6	7.7	12.3	6.2	15.4	1.5	7.7	-

(5) 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 世帯の年間収入別

子育てをしやすいするために必要なものを世帯の年間収入別にみると、父親では1,200万円未満、母親では500万円未満では、「育児手当など経済的な手当の充実」の割合が最も高くなっており、特に父親の500～600万円未満では、71.6%と7割を超えている。父親では1,200万円以上、母親では500万円以上は、「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が最も高くなっている。(表 -4-4)

表 -4-4 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 世帯の年間収入別

	総 数	仕 事 の 時 間 を 短 縮 し た り 、 ず ら	育 児 休 業 制 度 の 普 及	整 育 て に 理 解 の あ る 職 場 環 境 の 整 備	実 育 児 手 当 な ど 経 済 的 な 手 当 の 充 実	職 場 内 保 育 施 設 の 整 備	出 産 ・ 育 児 の た め に 退 職 し た 人 が 復 帰 で き る 制 度 の 充 実	子 ど も が 病 気 や け が を し た と き に 休 暇 を 取 れ る 制 度 の 充 実	夜 間 ・ 休 日 を 問 わ ず 、 子 ど も を 預 け ら れ る 保 育 サ ー ビ ス の 整 備	小 学 生 の 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	求 職 中 に 子 ど も を 預 け ら れ る サ ー ビ ス の 整 備	出 産 や 子 育 て に 関 する 情 報 提 供 や 相 談 の 場 の 整 備	子 育 て 家 庭 の 住 宅 環 境 の 整 備	男 女 が 共 に 子 育 て に 携 わ る 意 識 の 啓 発	子 ど も の 遊 び 場 環 境 の 整 備	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (7,988)	28.4	17.5	44.1	50.6	12.0	13.5	31.3	14.3	10.5	3.7	3.7	11.1	13.9	16.1	4.5	1.7	0.9
父	100.0 (3,634)	28.3	20.6	39.7	59.7	8.3	11.1	21.9	15.9	7.9	2.1	4.2	14.2	12.0	18.1	4.0	2.6	0.9
200万円未満	100.0 (35)	17.1	25.7	28.6	<u>65.7</u>	5.7	5.7	11.4	11.4	8.6	2.9	2.9	31.4	2.9	28.6	2.9	2.9	-
200～300万円未満	100.0 (134)	17.2	24.6	27.6	<u>67.9</u>	7.5	8.2	29.9	16.4	6.7	5.2	6.0	16.4	11.9	19.4	2.2	3.0	1.5
300～400万円未満	100.0 (336)	24.4	20.2	29.8	<u>67.6</u>	4.2	9.2	22.3	13.4	3.3	2.4	6.0	17.6	8.6	23.8	3.3	5.1	0.9
400～500万円未満	100.0 (479)	26.3	20.9	38.0	<u>69.1</u>	6.7	8.4	24.6	10.4	5.8	2.1	5.2	19.6	10.0	20.3	3.5	2.5	0.6
500～600万円未満	100.0 (517)	27.9	20.9	40.8	<u>71.6</u>	5.4	8.7	24.4	12.6	3.1	1.5	3.9	13.3	12.4	18.4	4.1	1.5	1.0
600～800万円未満	100.0 (785)	29.8	21.4	40.9	<u>61.4</u>	8.4	12.6	22.7	15.4	7.5	2.2	2.8	15.0	11.6	17.6	3.8	1.9	1.0
800～1,000万円未満	100.0 (537)	32.2	22.7	39.9	<u>57.4</u>	9.9	10.4	18.6	17.1	10.8	1.7	3.7	11.2	12.7	15.5	4.5	2.2	0.6
1,000～1,200万円未満	100.0 (351)	29.6	19.1	45.9	<u>47.6</u>	11.7	16.8	19.1	17.9	10.8	1.4	4.0	10.8	16.0	15.7	4.3	2.0	1.1
1,200～1,500万円未満	100.0 (188)	32.4	14.9	<u>44.7</u>	32.4	17.0	14.9	18.6	22.9	12.8	1.1	4.8	10.1	15.4	13.8	6.4	1.6	0.5
1,500万円以上	100.0 (198)	31.8	17.7	<u>47.5</u>	34.8	10.1	12.1	19.2	26.8	17.2	3.0	3.0	8.1	12.1	16.7	4.5	5.6	1.0
母	100.0 (4,354)	28.5	14.8	47.8	43.0	15.2	15.5	39.1	13.1	12.6	5.0	3.3	8.5	15.4	14.5	5.0	1.0	0.9
200万円未満	100.0 (252)	24.6	11.5	46.0	<u>56.3</u>	9.1	10.7	42.9	13.1	15.9	4.4	3.6	13.5	9.5	9.5	2.8	2.0	2.4
200～300万円未満	100.0 (258)	26.4	18.6	43.0	<u>52.3</u>	13.2	14.0	38.8	12.0	10.9	10.5	4.3	13.6	11.6	10.9	2.7	0.8	1.2
300～400万円未満	100.0 (398)	21.6	12.1	50.0	<u>50.5</u>	15.1	16.1	41.5	12.1	9.3	6.5	3.0	13.1	13.1	15.3	2.8	1.3	1.0
400～500万円未満	100.0 (530)	27.9	15.7	46.4	<u>50.8</u>	17.0	14.3	39.8	11.5	9.6	4.9	2.6	9.6	12.6	17.4	2.8	1.1	0.4
500～600万円未満	100.0 (588)	26.2	15.1	<u>48.6</u>	48.0	17.9	13.1	40.8	10.9	11.7	6.3	2.6	8.7	14.8	13.8	3.6	1.0	1.0
600～800万円未満	100.0 (849)	27.4	15.5	<u>47.2</u>	43.1	16.0	14.8	40.4	12.0	12.5	5.2	4.2	7.3	16.1	16.5	5.8	0.6	0.7
800～1,000万円未満	100.0 (571)	30.8	15.2	<u>49.0</u>	37.0	15.4	18.4	37.7	13.3	12.8	4.2	3.5	6.1	15.8	14.0	7.2	0.5	0.5
1,000～1,200万円未満	100.0 (375)	34.1	13.3	<u>51.7</u>	33.1	14.9	18.7	35.5	16.0	14.9	2.4	2.7	5.6	20.5	12.3	7.2	0.3	0.3
1,200～1,500万円未満	100.0 (204)	36.3	13.2	<u>52.5</u>	23.5	11.3	16.7	39.2	19.1	16.7	1.5	2.9	5.4	22.1	13.7	8.3	1.5	1.0
1,500万円以上	100.0 (217)	35.9	16.6	<u>43.8</u>	24.4	14.3	18.0	29.5	17.1	17.5	3.7	2.3	2.8	23.0	14.7	7.4	1.4	2.8

2 子育てをしていて日ごろ感じること

(1) 子育てをしていて日ごろ感じること - 前回調査との比較

「子どもが将来うまく育ってくれるかどうか心配になる」ことがある（よくある＋ときどきある）の割合は、前回調査よりも5.9ポイント上昇し、75.1%となった。

子育てをしていて日ごろ感じることを各項目別に聞いたところ、「子育てによって様々な経験ができたと思う」ことが「よくある」と答えた割合は72.4%で、前回調査に比べて12.7ポイント上昇している。（図 -4-2）

また、「子どもが将来うまく育ってくれるかどうか心配になる」ことがある（よくある＋ときどきある）の割合は、前回調査よりも5.9ポイント上昇し75.1%となった。（図 -4-3）

問 あなたは、次のようなことをお感じになることがありますか。

図 -4-2 子育てをしていて日ごろ感じること（良かったと思うこと） - 前回調査との比較

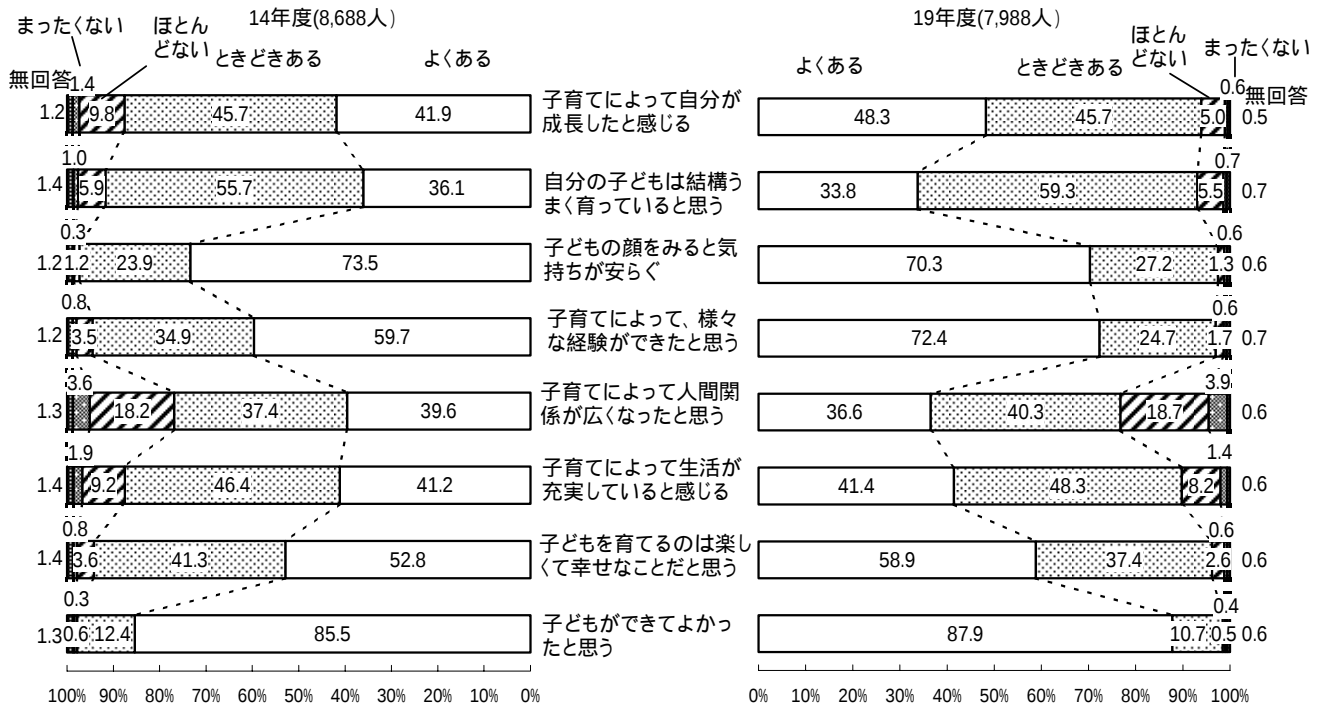
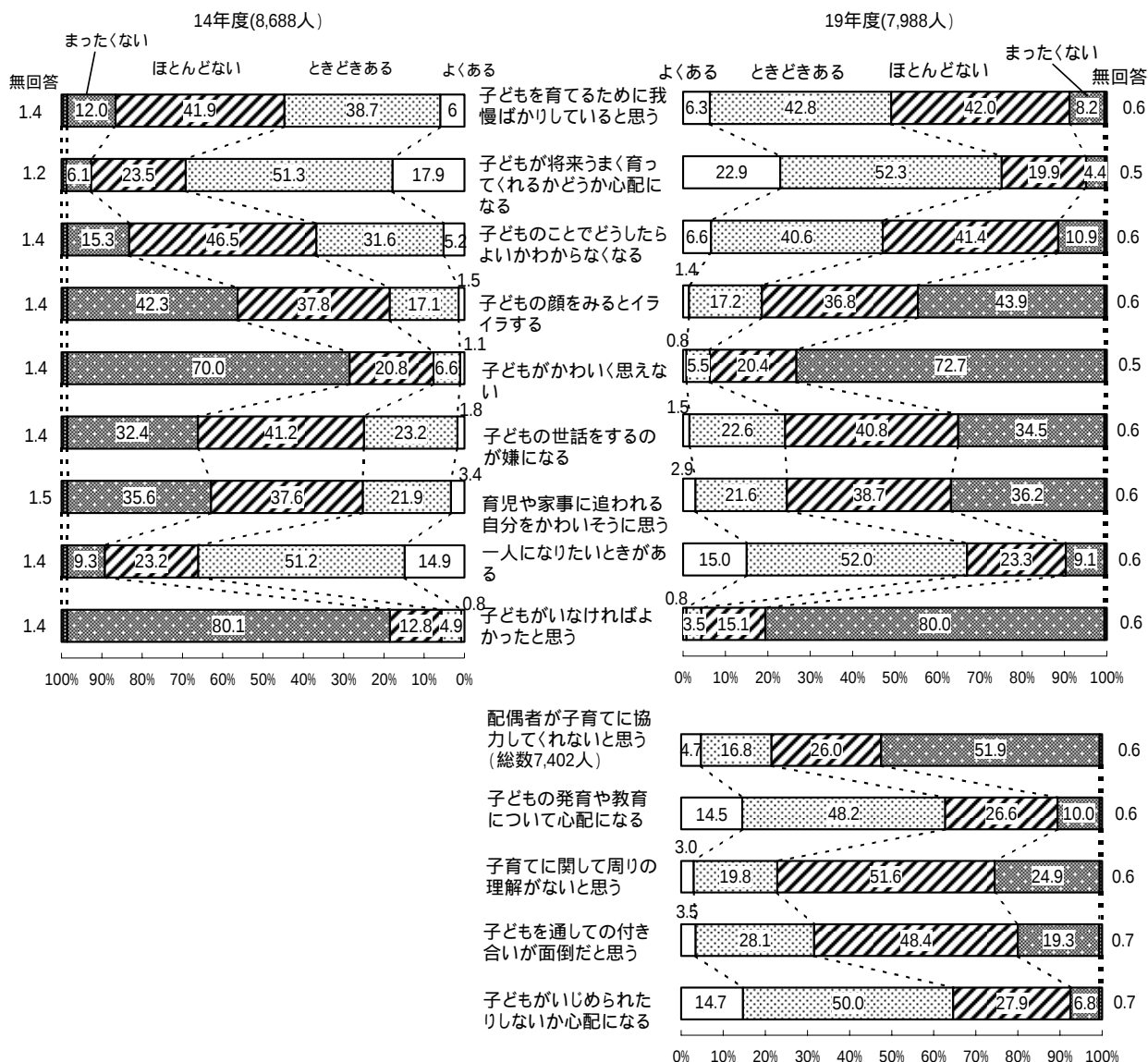


図 -4-3 子育てをしていて日ごろ感じること（負担に感じること） - 前回調査との比較



(注)「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」以下は、前回調査時にはなかった項目である。

(2) 子育てをしていて日ごろ感じること - 父母別

子育てをしていて負担に感じる事が「よくある」の割合は、すべての項目で、母親の方が父親より高くなっている。

子育てをしていて日ごろ感じることを父母別にみると、良かったと思うことでは、「よくある」の割合は、「自分の子どもは結構うまく育っていると思う」「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」以外の項目で、母親の方が父親より高くなっている。父母で「よくある」の割合の差が特に大きかったのは、「子育てによって様々な経験ができたと思う」(父 63.6%、母 79.7%)
「子育てによって人間関係が広がったと思う」(父 19.5%、母 50.8%)である。(図 -4-4)
一方、負担に感じることでは、すべての項目で母親の方が父親より「よくある」の割合が高くなっている。(図 -4-5)

図 -4-4 子育てをしていて日ごろ感じること(良かったと思うこと) - 父母別

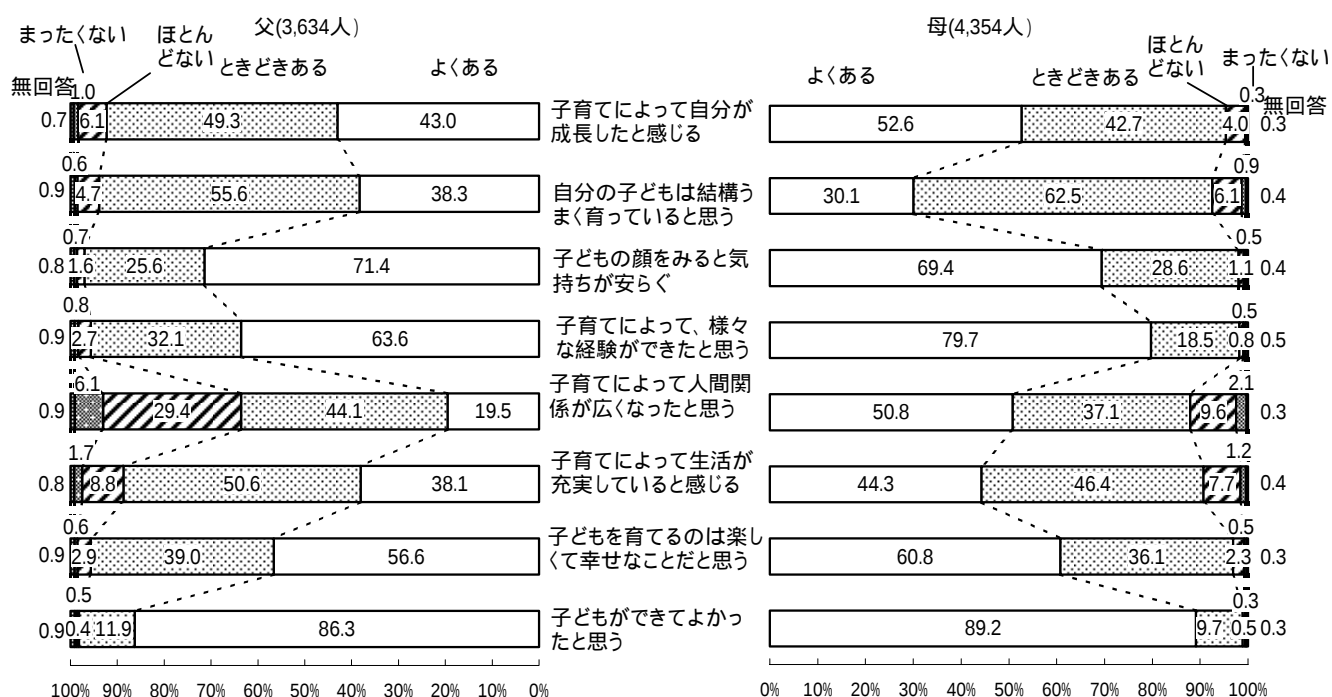
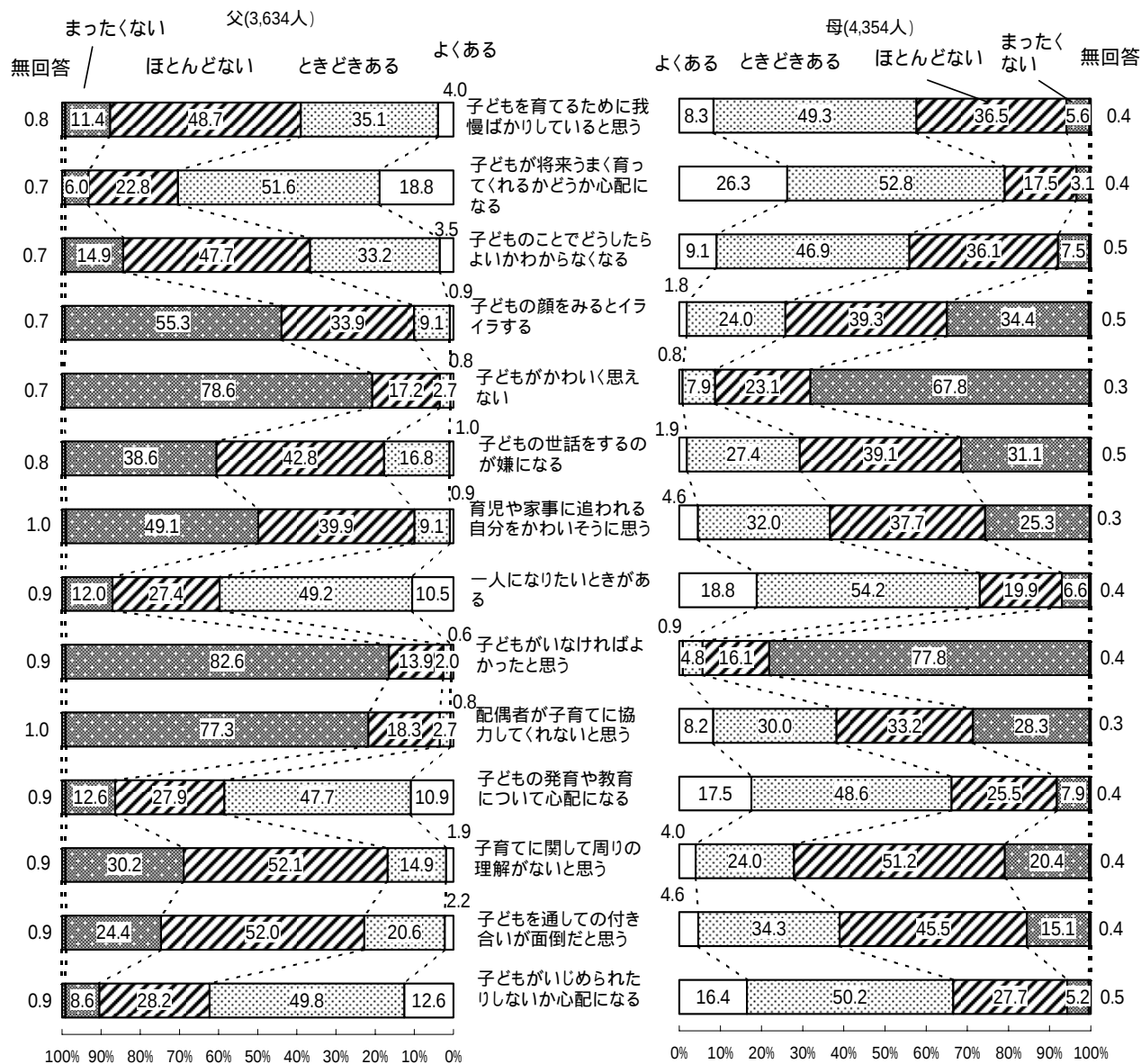


図 -4-5 子育てをしていて日頃感じること（負担に感じること） - 父母別



(注)「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」のみ、総数は父 3,569 人、母 3,833 人

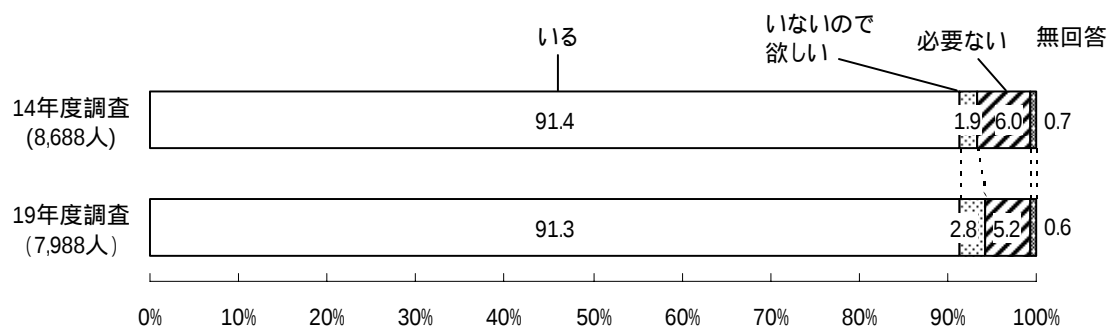
3 相談相手の有無

(1) 相談相手の有無 - 前回調査との比較

子どもについての悩みや心配事について相談する、相談相手がいるかどうか聞いたところ、「いる」が91.3%、「いないので欲しい」は2.8%、「必要ない」が5.2%となっている。(図-4-6)

問 あなたは、お子さんについての悩みや心配事を相談する、相談相手がありますか。

図 -4-6 相談相手の有無 - 前回調査との比較

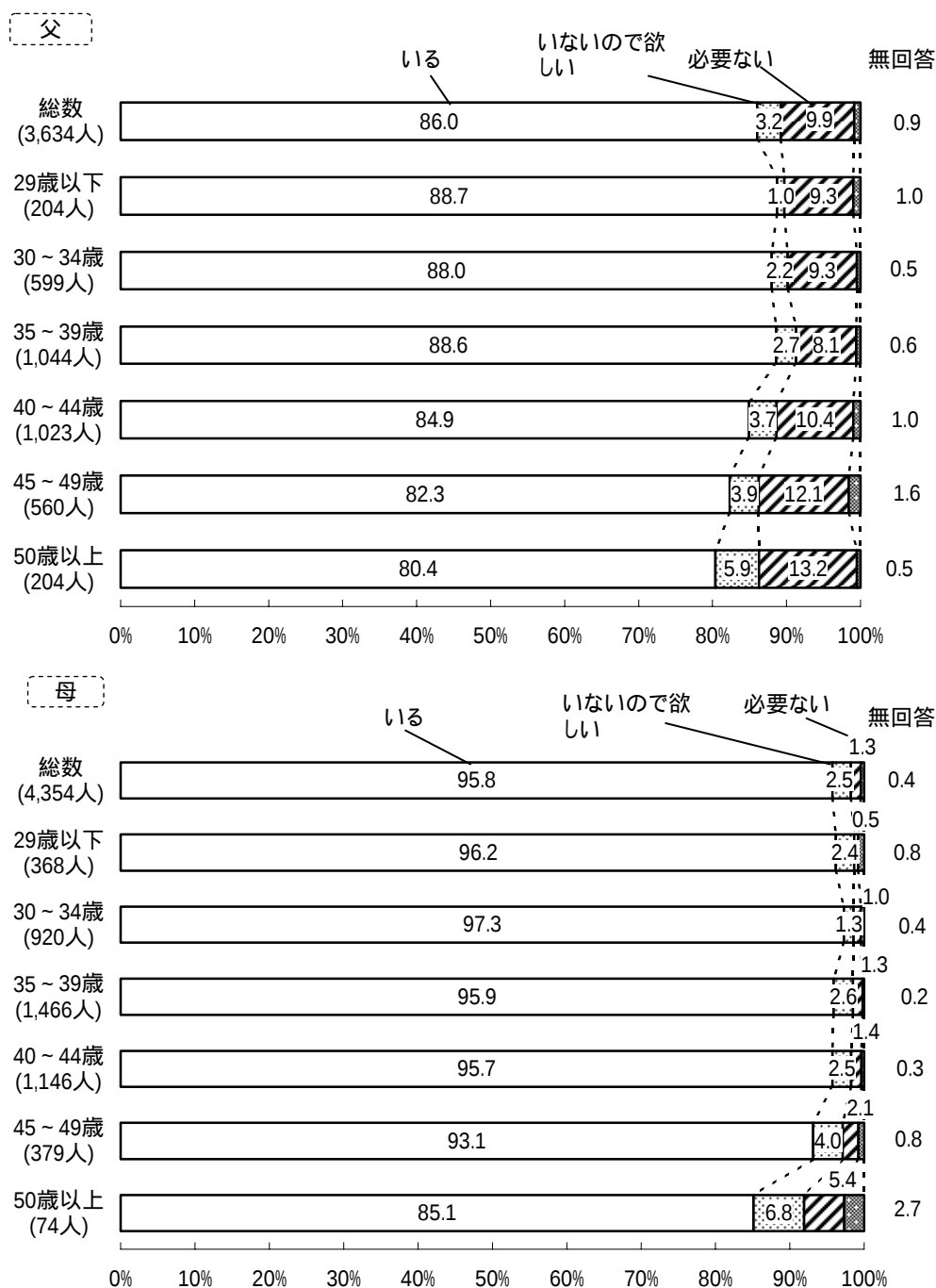


(2) 相談相手の有無 - 性・年齢階級別

相談相手が「必要ない」と答えた父親は約 1 割

相談相手の有無を性・年齢階級別にみると、「いる」と答えた割合は、父親 86.0%、母親 95.8%と母親の方が父親に比べて 10 ポイント近く高くなっている。また、「必要ない」の割合は、母親は 1.3%であるのに対して父親が 9.9%と高くなっており、特に 45～49 歳では 12.1%、50 歳以上は 13.2%となっている。(図 -4-7)

図 -4-7 相談相手の有無 - 性・年齢階級別

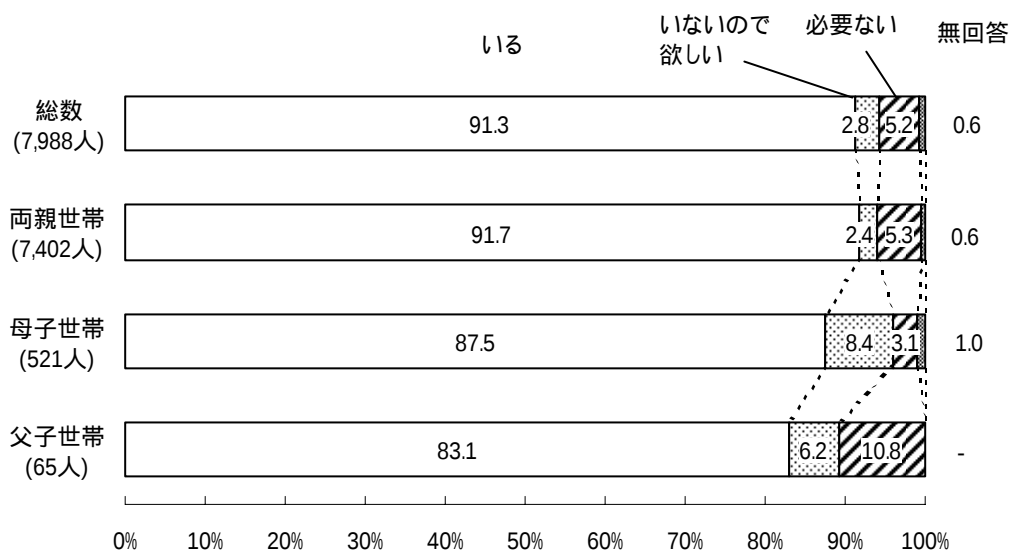


(3) 相談相手の有無 - 世帯類型（母子・父子世帯）別

両親世帯に比べて、母子世帯では相談相手が「いないので欲しい」、父子世帯では「必要ない」人の割合が高くなっている。

相談相手の有無を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯と比べて、母子世帯では、「いないので欲しい」(8.4%)、父子世帯では、「必要ない」(10.8%)の割合が高くなっている。(図 -4-8)

図 -4-8 相談相手の有無 - 世帯類型（母子・父子世帯）別



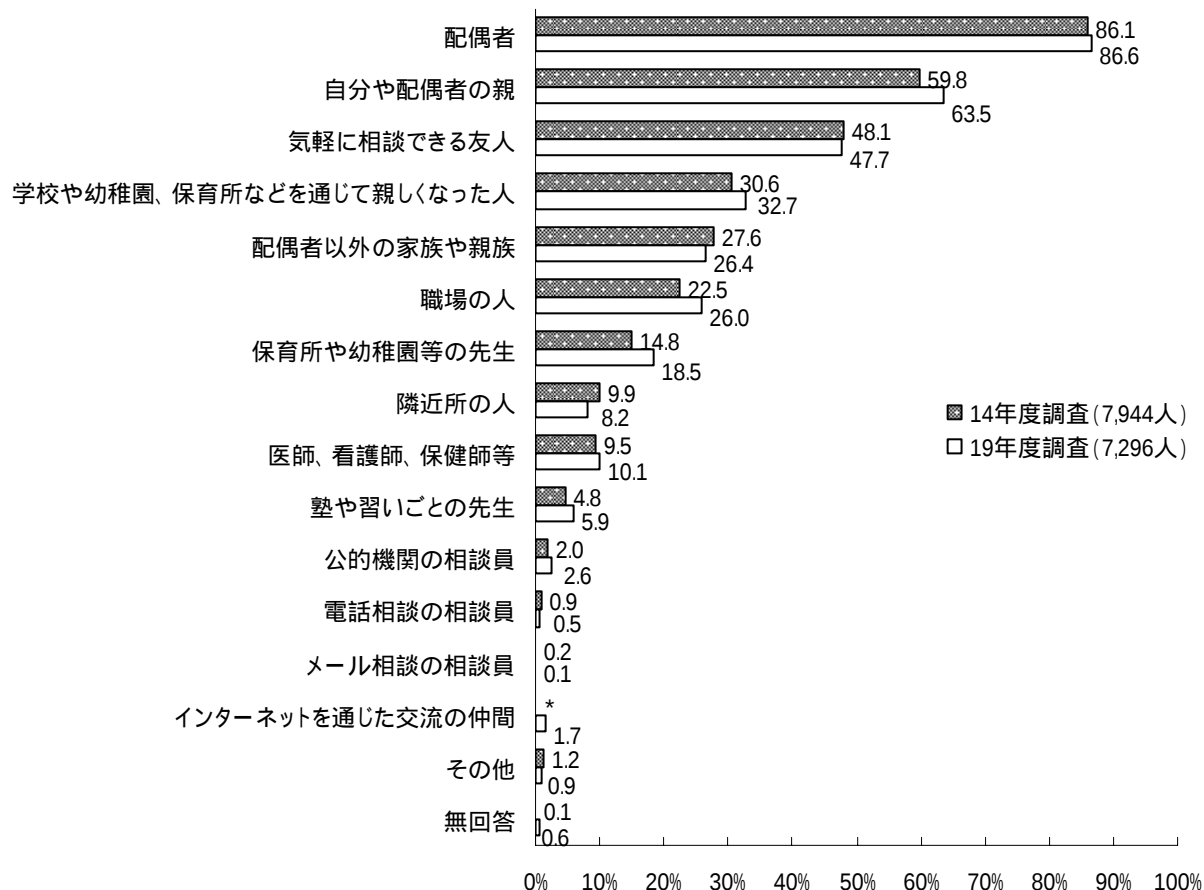
4 相談相手

(1) 相談相手〔複数回答〕 - 前回調査との比較

子どもについての悩みや心配事についての相談相手が「いる」と答えた7,296人に、相談相手は誰か聞いたところ、「配偶者」の割合が最も高く86.6%、次いで「自分や配偶者の親」の63.5%で、身近な親族に相談している人が多いことがうかがえる。(図 -4-9)

問 あなたは、お子さんについての悩みや心配事については、誰に相談していますか。

図 -4-9 相談相手〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(注) * は 14 年度調査時に選択肢がなかったもの

(2) 相談相手〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

相談相手を性・年齢階級別にみると、父母とも「配偶者」の割合が最も高く、父親 93.0%、母親 81.7%であった。2 番目は「自分や配偶者の親」で、父親 56.7%、母親 68.6%であったが、父母とも年齢が上がるにつれ、その割合は下がっている。3 番目は父親が「職場の人」で 37.1%、母親が「気軽に相談できる友人」で 62.5%となっている。(表 -4-5)

表 -4-5 相談相手〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	配 偶 者	自 分 や 配 偶 者 の 親	配 偶 者 以 外 の 家 族 や 親 族	保 育 所 や 幼 稚 園 等 の 先 生	塾 や 習 い ご と の 先 生	気 軽 に 相 談 で き る 友 人	子 ど も の 学 校 や 幼 稚 園 、 保 育 所 な ど を 通 じ て 親 し く な っ た 人	職 場 の 人	隣 近 所 の 人	医 師 、 看 護 師 、 保 健 師 等	公 的 機 関 の 相 談 員	電 話 相 談 の 相 談 員	メ ー ル 相 談 の 相 談 員	イン ター ネ ット を 通 じ た 交 流 の 仲 間	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (3,127)	93.0	56.7	19.6	6.8	1.8	27.9	7.9	37.1	4.0	5.9	1.0	0.2	-	0.7	0.5	0.8
29歳以下	100.0 (181)	93.4	77.9	27.6	3.3	-	34.3	3.9	49.2	3.9	3.9	-	-	-	1.1	1.1	-
30～34歳	100.0 (527)	93.5	65.7	19.7	8.3	0.2	29.6	4.6	46.7	2.1	6.3	0.6	0.2	0.2	0.8	0.6	0.9
35～39歳	100.0 (925)	94.7	60.0	20.3	7.4	1.2	28.1	8.4	39.9	3.9	5.4	0.9	0.1	-	1.1	0.3	0.8
40～44歳	100.0 (869)	92.1	52.7	18.2	5.6	2.9	25.2	7.4	32.6	4.6	5.6	1.2	0.2	-	0.5	0.3	1.0
45～49歳	100.0 (461)	92.6	44.7	18.4	8.0	3.0	29.1	11.3	28.9	5.6	6.5	1.1	0.4	-	0.2	0.4	0.7
50歳以上	100.0 (164)	87.2	40.9	17.7	6.1	3.7	25.0	13.4	25.0	3.7	10.4	2.4	0.6	-	-	1.2	-
母	100.0 (4,169)	81.7	68.6	31.4	27.2	8.9	62.5	51.4	17.7	11.4	13.2	3.8	0.7	0.1	2.4	1.2	0.5
29歳以下	100.0 (354)	80.5	80.8	31.6	28.5	1.7	65.3	30.5	15.0	12.7	18.4	5.9	0.6	-	7.1	1.7	0.8
30～34歳	100.0 (895)	86.0	79.6	29.3	33.1	4.6	62.7	46.5	17.0	10.9	16.1	3.4	0.8	0.1	3.8	0.8	0.6
35～39歳	100.0 (1,406)	83.0	70.2	32.7	29.5	7.4	61.9	58.0	17.1	11.9	12.1	3.2	0.7	0.3	1.8	1.1	0.6
40～44歳	100.0 (1,097)	82.0	61.2	31.3	23.2	14.5	62.5	54.5	19.5	9.8	11.3	3.4	0.3	-	1.0	0.9	0.2
45～49歳	100.0 (353)	73.1	51.3	30.6	17.8	14.4	59.2	51.0	19.3	13.9	12.2	6.5	2.0	-	2.0	2.0	0.6
50歳以上	100.0 (63)	42.9	36.5	36.5	6.3	19.0	76.2	38.1	14.3	11.1	9.5	4.8	-	-	-	4.8	-

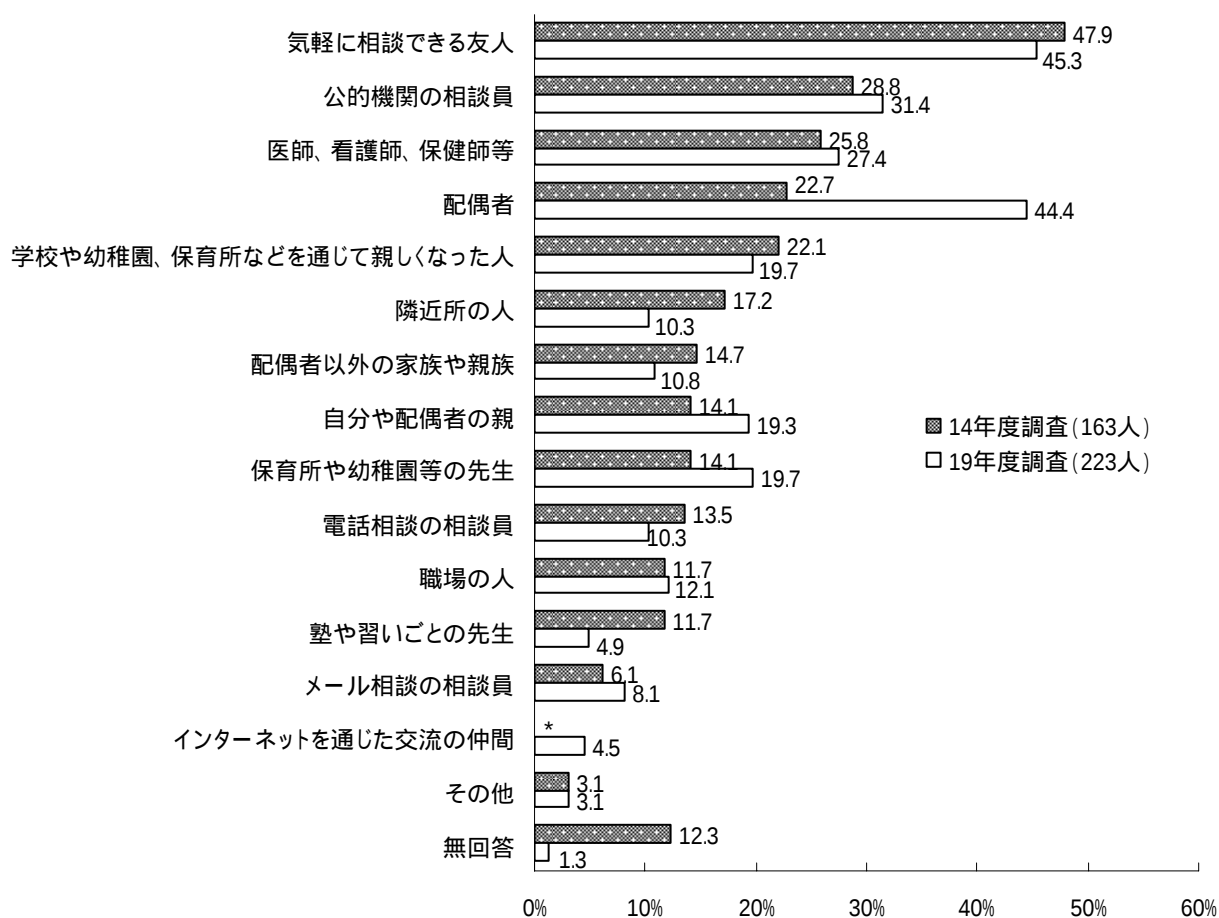
5 相談相手に誰がほしいか

(1) 相談相手に誰がほしいか〔複数回答〕 - 前回調査との比較

子どもについての悩みや心配事についての相談相手が「いないので欲しい」と答えた223人に誰に相談したいか聞いたところ、「気軽に相談できる友人」の割合が最も高く45.3%、次いで「配偶者」の44.4%となっている。「配偶者」の割合は、前回調査と比べて20ポイント以上高くなっている。(図 -4-10)

問 お子さんの悩みや相談事について誰に相談したいですか。

図 -4-10 相談相手に誰がほしいか〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(注) *は14年度調査時に選択肢がなかったもの

(2) 相談相手に誰がほしいか〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

相談相手にほしいのは、父親は「配偶者」、母親は「気軽に相談できる友人」の割合が最も高く、それぞれ約半数であった。

相談相手に誰がほしいかを性・年齢階級別にみると、父親は「配偶者」の割合が最も高く48.7%、次いで「気軽に相談できる友人」の39.1%となっている。一方母親は、「気軽に相談できる友人」の割合が最も高く51.9%、次いで「配偶者」の39.8%となっている。(表 -4-6)

表 -4-6 相談相手に誰がほしいか〔複数回答〕 - 性・年齢階級別

	総 数	配 偶 者	自 分 や 配 偶 者 の 親	配 偶 者 以 外 の 家 族 や 親 族	保 育 所 や 幼 稚 園 等 の 先 生	塾 や 習 い ご と の 先 生	気 軽 に 相 談 で き る 友 人	子 ど も の 学 校 や 幼 稚 園 、 保 育 所 な ど を 通 じ て 親 し く な っ た 人	職 場 の 人	隣 近 所 の 人	医 師 、 看 護 師 、 保 健 師 等	公 的 機 関 の 相 談 員	電 話 相 談 の 相 談 員	メ ー ル 相 談 の 相 談 員	イン ター ネ ット を 通 じ た 交 流 の 仲 間	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (115)	48.7	20.9	10.4	16.5	5.2	39.1	18.3	16.5	10.4	27.0	33.9	6.1	10.4	4.3	1.7	0.9
29歳以下	100.0 (2)	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	100.0	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-
30～34歳	100.0 (13)	61.5	15.4	-	30.8	-	23.1	23.1	15.4	15.4	38.5	30.8	-	7.7	-	-	-
35～39歳	100.0 (28)	42.9	14.3	3.6	14.3	-	32.1	21.4	21.4	10.7	17.9	21.4	3.6	10.7	-	7.1	3.6
40～44歳	100.0 (38)	36.8	26.3	15.8	13.2	13.2	42.1	21.1	13.2	13.2	28.9	39.5	15.8	18.4	7.9	-	-
45～49歳	100.0 (22)	63.6	13.6	9.1	22.7	4.5	50.0	13.6	4.5	9.1	18.2	45.5	-	-	4.5	-	-
50歳以上	100.0 (12)	58.3	33.3	16.7	-	-	41.7	-	25.0	-	41.7	25.0	-	-	-	-	-
母	100.0 (108)	39.8	17.6	11.1	23.1	4.6	51.9	21.3	7.4	10.2	27.8	28.7	14.8	5.6	4.6	4.6	1.9
29歳以下	100.0 (9)	77.8	44.4	11.1	22.2	-	55.6	33.3	-	11.1	66.7	-	22.2	11.1	22.2	11.1	-
30～34歳	100.0 (12)	50.0	25.0	-	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7	8.3	25.0	33.3	8.3	8.3	8.3	-	-
35～39歳	100.0 (38)	36.8	21.1	18.4	36.8	2.6	57.9	23.7	10.5	15.8	23.7	21.1	15.8	5.3	-	2.6	-
40～44歳	100.0 (29)	37.9	13.8	10.3	13.8	3.4	48.3	24.1	-	3.4	27.6	37.9	20.7	6.9	3.4	-	3.4
45～49歳	100.0 (15)	33.3	-	-	-	-	33.3	6.7	13.3	13.3	13.3	33.3	6.7	-	6.7	20.0	-
50歳以上	100.0 (5)	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	40.0	60.0	-	-	-	-	20.0